City of HIROSHIMA

令和 2 年版（2020 年版）

広島市勢要覧

目 contents 次

広島市の概要 ・・ 1

各区の概要 ・・・ 4

広島市総合計画 ・・ 12

200 万人広島都市圏構想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

核兵器廃絶に向けた取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

原爆被爆者 ・・・ 18

姉妹･友好都市 ・・・ 19

主要行事･イベント ・・ 20

世界一･日本一 ・・・ 21

ザ･広島ブランド、ひろしまそだち ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

名誉市民･特別名誉市民 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

広島の歴史 ・・・ 26

主要年表 ・・ 33

統計で見る広島市 ・・・ 37

広島市統計プロフィール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

※広島市統計プロフィールは、小さく折りたたんで携帯することができます。

広島市の概要

● 市章

旧芸州藩の旗印であった「三引き」(三)にヒントを得て、これに川の流れを表現するカーブをつけて、水都広島を象徴したものです。(明治 29 年 5 月 19 日制定)

● 市の木「クスノキ」

原爆から生き残ったクスノキは、いち早くよみがえり、市民に生きる希望と復興への力を与えてくれました。(昭和 48 年 11 月 3 日制定)

● 市の花「キョウチクトウ」

原爆により 75 年間草木も生えないといわれた焦土にいち早く咲いた花で、市民に復興への希望と力を与えてくれました。(昭和 48 年 11 月 3 日制定)

● 人口及び世帯数(令和 2 年 12 月末現在)

区分	人口			対前年同月比			世帯数
	合計	うち日本人	うち外国人	合計	日本人	外国人	
広島市	1,194,817人	1,174,790人	20,027人	▲0.08%	▲0.05%	▲1.59%	573,378世帯
中区	136,012人	131,691人	4,321人	+0.77%	+0.83%	▲0.87%	78,401世帯
東区	120,083人	118,137人	1,946人	▲0.44%	▲0.41%	▲1.87%	56,902世帯
南区	142,546人	140,392人	2,154人	▲0.31%	▲0.22%	▲5.82%	71,356世帯
西区	189,120人	184,765人	4,355人	▲0.11%	▲0.06%	▲2.16%	95,299世帯
安佐南区	244,923人	242,616人	2,307人	+0.25%	+0.24%	+1.50%	106,637世帯
安佐北区	142,518人	140,380人	2,138人	▲0.99%	▲1.03%	+1.86%	65,981世帯
安芸区	78,967人	77,391人	1,576人	▲0.77%	▲0.63%	▲7.08%	35,748世帯
佐伯区	140,648人	139,418人	1,230人	+0.42%	+0.41%	+2.24%	63,054世帯

(資料:住民基本台帳人口)

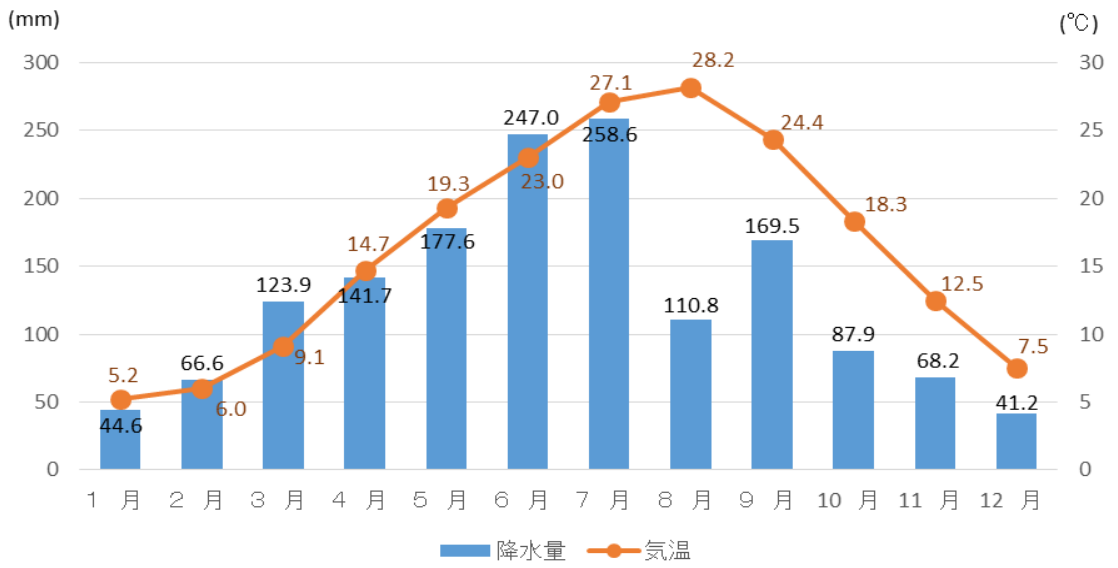
● 年齢 3 区分別人口（令和 2 年 12 月末現在）

区分	若年人口 0～14歳	労働人口 15～64歳	高齢人口 65歳以上	計	高齢化率
広　島　市	160,691人	729,564人	304,562人	1,194,817人	25.5%
中　区	15,184人	87,024人	33,804人	136,012人	24.9%
東　区	16,158人	72,190人	31,735人	120,083人	26.4%
南　区	18,786人	88,710人	35,050人	142,546人	24.6%
西　区	24,372人	120,295人	44,453人	189,120人	23.5%
安佐南区	39,366人	153,403人	52,154人	244,923人	21.3%
安佐北区	16,189人	77,997人	48,332人	142,518人	33.9%
安　芸　区	10,557人	47,379人	21,031人	78,967人	26.6%
佐　伯　区	20,079人	82,566人	38,003人	140,648人	27.0%

（資料：住民基本台帳人口）

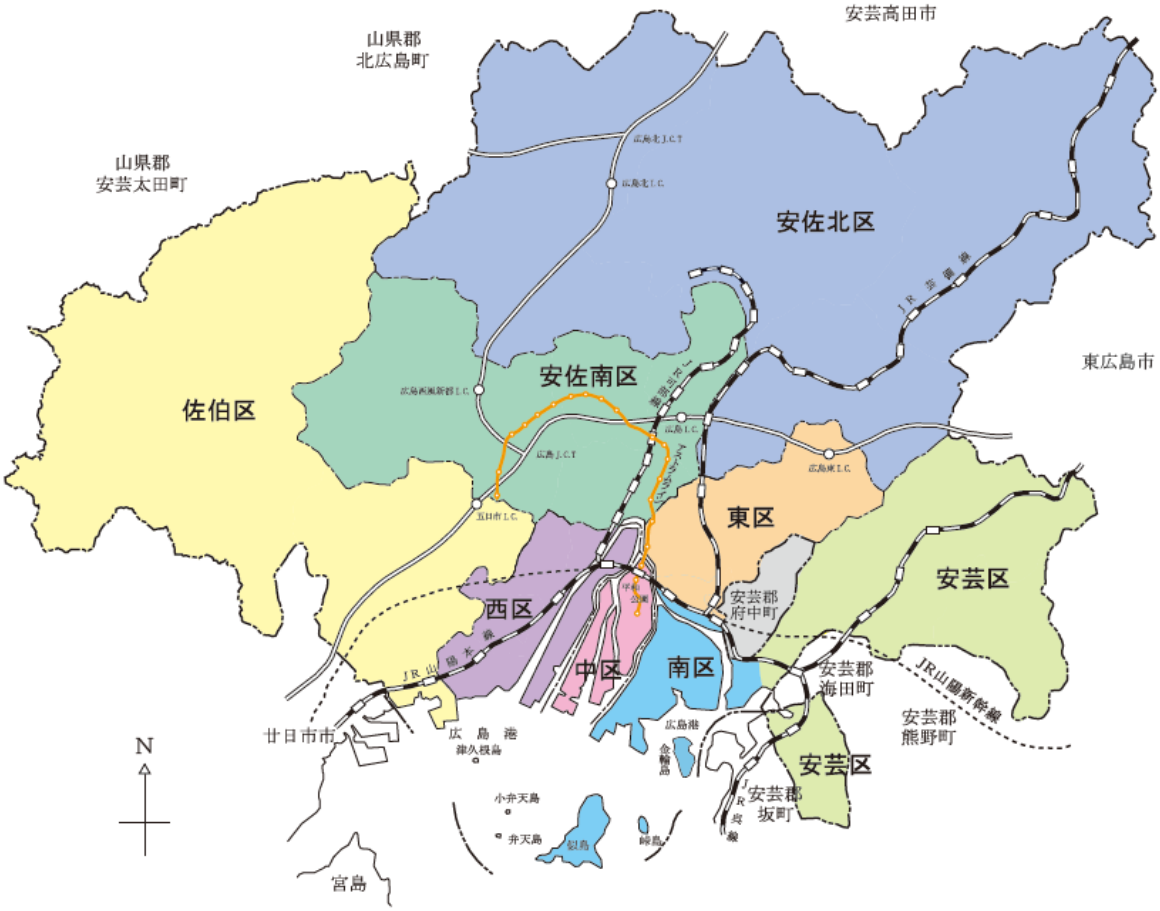
● 気象

本市の気候は温暖で降水量が少ない、いわゆる「瀬戸内気候区」に属しています。月平均気温は、1 月 5.2℃、8 月 28.2℃、年平均 16.3℃と比較的温暖です。



● 位置･地勢

本市は広島県の西部に位置し、広島湾に面しています。市域内の平地の大部分は、太田川流域に形成された沖積平野からなります。



面　積
906.69㎢

（令和2年10月1日現在）

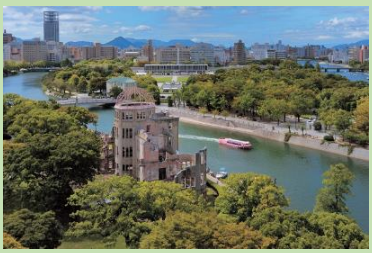
各区の概要

注：人口・世帯数は、令和２年（2020 年）12 月末現在の住民基本台帳によるものです。面積は、令和２年（2020 年）10 月１日現在のものです。

中区

いき 活き 中区

人口　136,012 人　世帯数　78,401 世帯　面積　15.32km²



原爆ドーム（世界遺産）と平和記念公園

中区のまちづくりの方向性（基本方針）

- ○　都心にふさわしいにぎわいを創るまちづくり
- ○　自然と歴史、文化芸術を生かしたまちづくり
- ○　互いに尊重し、地域で支え合い、多様な住民が健康で快適に暮らせるまちづくり
- ○　地域コミュニティを育むまちづくり
- ○　災害に強く、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくり

◆　太田川河口デルタ地帯の中央部に位置し、東は京橋川、西は天満川と接しており、中央には元安川と本川（旧太田川）が流れています。

◆　中心部である紙屋町、八丁堀地区は、広島広域都市圏の中心であり、デパート、地下街、専門店などの商業施設や官公庁、銀行、企業の本・支店などが集積しており、中四国地方最大の歓楽街である流川、薬研堀地区が隣接しています。また、バスセンター、市内電車、そしてアストラムラインが多様な都市活動を支えています。さらに、平和記念公園や中央公園、平和大通りなどがあり、国際平和文化都市・広島の象徴として個性のある都市景観を形成しています。

◆　周辺の白島、十日市、千田町などの地区は、中高層住宅や商業施設が立ち並び、南部の吉島、舟入などの地区は、商業、工業が混在する住宅地です。また、南端の江波地区では、カキの養殖などの漁業が行われています。

基町住宅地区の活性化
（基町資料室）

公共空間等を活用したまちなかにぎわいづくり
（紙屋町まちかどピアノ）

花と緑で彩る「なかちゃん音楽の輪」

【区の魅力と活力推進事業】

中区では、次の５つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

１　地域力を高めるまちづくり

●地域コミュニティの強化

ワークショップの開催などにより、町内会加入促進など地域力の向上に役立つ住民主体の活動を支援しています。

●基町住宅地区の活性化

広島市立大学と中区が連携し、若者を中心とする創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、地区の魅力づくりや活性化に向けた取組「基町プロジェクト」を行っています。

２　にぎわいのあるまちづくり

●まちなかにぎわいづくり事業

商店街、地域団体、行政などが連携・協働して、防災訓練、落書き対策、おもてなし市民交流プログラムなどに取組み、魅力と活力にあふれ、安全・安心に過ごせる中心部繁華街のまちづくりを進めています。

●公共空間等を活用したまちなかにぎわいづくり

東新天地公共広場、アリスガーデン、袋町公園など、中心部の公共空間を活用した商店街や地域団体が主体となったイベントの実施を働きかけるとともに、都心にふさわしいにぎわいのあるまちづくりができるよう支援を行います。

３　ふれあいのあるまちづくり

●花づくりの活動の支援

市民ボランティアグループによる道路、公園などの公共施設での花づくり活動に対し、花の苗などの提供、講師の派遣などの支援を行っています。

●花と緑で彩る「なかちゃん音楽の輪」

花と緑と音楽を連携させた音楽イベントを繋いで広げていくことにより、にぎわいと活力をもたらすまちづくりを進めています。ホールや公民館など様々な会場で、地域で活動する団体等が出演する音楽イベントを開催しています。

４　地域の魅力を活用したまちづくり

●城下町広島ぶらりプロジェクト

まち歩き団体、商店街等と協力して、城下町広島の散策を支援するアプリケーションを作成し、歴史・文化などの広島の魅力をＰＲする取組を進めています。

５　安全・安心なまちづくり

●地域防災力の向上

わがまち防災マップの作成支援やポケット版防災マニュアルの作成・配布など、区民の防災意識を高める取組を、自主防災会などの関係団体等と連携して進めています。

東区

人口 120,083 人　世帯数 56,902 世帯　面積 39.42 ㎢

不動院金堂（国宝）

東区のまちづくりの方向性（基本方針）
- ○　安全・安心で、元気あふれるまちづくり
- ○　みんなで支え合うまちづくり
- ○　地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
- ○　おもてなしの心あふれるまちづくり

◆　都心市街地の北東に位置し、北東から南西に細長い地形で、全体的に丘陵や山麓が多く自然の緑地に恵まれた地域です。
◆　また、陸の玄関である JR 広島駅新幹線口に隣接し、北東部には山陽自動車道広島東インターチェンジを擁し、広域的な交通条件にも恵まれています。
◆　地域構造としては、商業・業務地と住宅地からなる西地区（尾長、二葉の里、牛田、戸坂、中山、矢賀）と、住宅地と点在する農地からなる東地区（福田、馬木、温品）に区分されます。
◆　西地区には、JR 広島駅新幹線口周辺地区に商業ビルやホテルなどが立地する商業・業務市街地とアストラムライン・JR 沿線に住宅地が形成されています。また、牛田山や二葉山など都心に近接した緑地空間が広がっており、そのふもと周辺には、国宝不動院金堂をはじめとする歴史的建造物などの資源も豊富で、これらを結ぶルートは「二葉の里歴史の散歩道」として市民の散策の場となっています。
◆　東地区は、県道広島中島線沿線の平地部や丘陵地の住宅地と点在する農地からなり、また、豊かな自然を生かした森林公園など大規模な公園を有するなど、自然にふれることのできるレクリエーションの場として親しまれています。

エキキタ･カラフルマルシェ

「二葉の里歴史の散歩道」定期ガイド

常設オープンスペース「子育て交流ひろば“ぽっぽひがし”」

【区の魅力と活力推進事業】
東区では、次の３つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区民の皆さんの主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　もてなしのまちづくり

●もてなしのまちづくり
JR 広島駅ペデストリアンデッキ、南北自由通路等が整備されたエキキタ（JR 広島駅新幹線口周辺地区）は、地域の魅力の情報発信や、にぎわいや回遊性のある空間の創出に取り組むため、地元住民や企業などの事業者、行政が協働して、エリアマネジメントに取り組んでいます。

2　地域資源を生かしたにぎわいづくり

●「二葉の里歴史の散歩道」定期ガイドの実施
牛田新町の不動院～二葉の里～矢賀駅までの間に点在する由緒ある神社･仏閣や史跡などの文化遺産を結んだ「二葉の里歴史の散歩道」を、毎月 28 日の「ふたばの日」や、希望日に応じた「いつでもガイド」に、ボランティアガイドが無償で案内しています。

●「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の実施
毎年８月６日の前夜、犠牲者の霊を慰め、世界平和を祈念して二葉の里にある七つの社寺の石灯籠や参道にろうそくを灯す平和の夕べを行います。

●自然観察会と区民ハイキング
東区は、二葉山・牛田山の緑地や太田川の水辺など豊かな自然環境を有しています。春には、東区緑のボランティアの会が中山でモリアオガエルの卵場の自然観察会を、秋には、区や牛田学区体育協会などが協働して牛田山ぐるっとハイキングなども実施しています。

3　みんなで支え合う地域づくり

●子育てオープンスペースの開催
子育て中の親子が交流できる常設オープンスペース「子育て交流ひろば“ぽっぽひがし”」と「オープンスペースわくわくランド光明」では、季節行事や保育士による育児相談を行うなど地域ぐるみの子育て支援の場になっています。

●認知症サポーター養成講座の開催
地域や職場の中で認知症の人や家族を適切にサポートできるよう、小学校から大学までの教育機関や団体などを対象に認知症サポーター養成講座を開催しています。

南区

人口 142,546 人　世帯数 71,356 世帯　面積 26.46 ㎢

海から望む南区

南区のまちづくりの方向性（基本方針）

- ○　陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり
- ○　人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり
- ○　歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり
- ○　山や鳥などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

◆　太田川デルタの南東部を中心とした区域で、広島市の陸と海の玄関である JR 広島駅と広島港を有しています。似島や金輪島などの島しょ部を抱えるとともに、桜の名所として知られる比治山や黄金山があります。

◆　JR 広島駅南口周辺地区は、広島東洋カープの本拠地「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」に商業・業務･住居などの諸機能が集積した再開発ビルが新たに加わり、広島の陸の玄関にふさわしい変貌を遂げ、今後もさらなる発展が期待されています。

◆　広島港のある宇品・出島地区は、瀬戸内海の海上交通や、国際交流・交易の拠点としての役割を担っています。

似島歴史ボランティアガイド養成講座

みなみく3名花スイーツ

南区わくわくお花サロン

【区の魅力と活力推進事業】

南区では、次の３つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　海と島の魅力づくり

●宇品の魅力づくり

広島港界わいの魅力を PR し、にぎわいを創出するため、「みなと」をテーマに「広島みなとフェスタ」（３月）を広島みなと公園周辺、似島で開催しています。

●似島の魅力づくり

「地域おこし協力隊」と連携し、交流拠点を運営し、似島の魅力等の情報発信、新たな観光・地域資源の掘り起こしを図るとともに、歴史ボランティアガイドの養成、観光パンフレットや PR 動画の制作を行い、豊かな自然と歴史を生かした「島おこし」に取り組んでいます。

2　地域の宝づくり

●地域資源の発掘

似島において「ニノシマボタルを育てる里人の会」と協働し、ホタルが育つ環境の整備、観察会の開催、会報発行等を行っています。

●地域資源の活用

区内の菓子店と高等学校との協働で、「南区」の魅力資源を活かした「みなみく３名花スイーツ」を開発し、南区の PR に活用しています。

●地域資源の発信

地域に誇りと愛着を感じるまちづくりを進めるため、南区の魅力をアピールする動画の制作や配信を行い、PR を行っています。

3　ふれあいともてなしのまちづくり

花いっぱいのまちづくりを進めるため、地域で花づくりに取り組む団体等を対象に活動の一助となる情報交換や講習を行う「南区わくわくお花サロン」（交流会）を開催するとともに、壁面フラワーアートの製作に向けて種から花苗を育てています。

西区

川風、潮風、緑の風　地域の力を未来につなぐ―西区

人口 189,120 人　世帯数 95,299 世帯　面積 35.61 ㎢

天満川と太田川放水路

西区のまちづくりの方向性（基本方針）
- ○　地域資源を活用したまちづくり
- ○　にぎわいのあるまちづくり
- ○　元気アップを目指したまちづくり
- ○　安全・安心で美しいまちづくり

◆　東を天満川、西を八幡川に挟まれた区域で、中央部には太田川放水路が流れています。宗箇山（三滝山）から鈴ヶ峰周辺に連なる山々に囲まれるなど豊かな自然に恵まれ、古江のイチジク、観音のネギ、草津のカキなどの特産品があります。また、かつての西国街道沿いの街並みや三瀧寺など歴史・文化資源も豊かです。

◆　東部の三篠や大芝は住宅と商業・工業機能とが複合した市街地であり、中広町から「西風新都」に向けて広島高速４号線が通じ、南部には広島南道路が太田川放水路右岸まで通じています。また、西部の丘陵には住宅団地が形成されています。

◆　己斐および横川は、交通ターミナル機能や商業機能を生かした地域拠点の役割を、また商工センターは、トラックターミナル、中央卸売市場や商業街区を擁する市の経済・流通拠点の役割を担っています。

◆　北西部の竜王町には市の中心部を一望できる総合公園（竜王公園）が整備され、太田川放水路河川敷の運動公園（太田川緑地）とともに、身近な憩いの場として親しまれています。南東部の観音新町には、ヨットハーバー（観音マリーナ）や商業施設が整備され、レジャー・レクリエーション空間が形作られています。

西国街道ぶらり旅（いのくち歴史の散歩道）

花と緑と音楽のひろば@コイプレ（己斐地区）

防災訓練（天満地区）

【区の魅力と活力推進事業】

西区では、次の４つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

１　地域資源を活用したまちづくり

●西区は、太田川放水路や天満川などの河川や、宗箇山（三滝山）、鈴ヶ峰などの山々に囲まれた自然豊かな地域で、西国街道や三瀧寺などの歴史や文化資源にも恵まれています。「歴史散策会」や「西区やまなみハイキング」など、地域の魅力を活用したまちづくりを進めています。

２　にぎわいのあるまちづくり

●区内には、横川、己斐などの交通上重要な地区や井口・商工センターなどの流通の拠点があり、人と物・情報が行き交っています。また、公園、広場、河川敷など大勢の人が集える場所がたくさんあります。「西区民まつり」など、これらを活用したにぎわいのあるまちづくりを進めています。

３　元気アップをめざしたまちづくり

●少子・高齢化や、都市化の進展などによりコミュニティ意識の希薄化が、西区においても進んでいます。また、環境問題に対する区民の意識も高まっています。このような状況を踏まえ、健康で元気に暮せるまちづくりや人にやさしい環境を未来に引き継ぐ住みよい地域づくりを進めています。

４　住民が活動しやすいまちづくり

●住民主体のまちづくりを推進する上での課題やニーズを把握し、適切な支援を行うなど、住民自らが活動しやすいまちづくりに取り組んでいます。

安佐南区

人口 244,923 人　世帯数 106,637 世帯　面積 117.03 ㎢

祇園新橋とアストラムライン

安佐南区のまちづくりの方向性（基本方針）
- ○　地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり
- ○　みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり
- ○　自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり
- ○　地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり

◆　広島市域の北西部に位置し、広島市で一番人口の多い区です。
昭和 40 年代後半から昭和 50 年代にかけて山地部を中心に大規模な宅地開発が進むとともに人口が増大したため、都市基盤整備が急務となり、市の中心部から北西部に至る祇園新道・中筋沼田線や、トンネルで両地区を結ぶ高速４号線の開通、中四国地方初めての新交通システム「アストラムライン」の運行など道路交通網が整備されました。

◆　また、広島広域公園のある沼田地区では、「住み」「働き」「学び」「憩い」「護る」といった複合的機能を備えた都市拠点である西風新都の整備を進めています。

◆　一方、特産の広島菜の栽培などにみられるように、川内地区などは砂質土で野菜の栽培に適した農地が多く、市民への新鮮な野菜の供給元となっています。

◆　都市化が進んだとはいえ、周辺には緑豊かな自然が多く残っており、こうした環境のなか６大学・２短期大学など多くの文教施設を有しています。

安佐南区役所 ”小さな音楽会”

安佐南区民交流駅伝大会

ボランティアによる海外援助米生産事業

【区の魅力と活力推進事業】
安佐南区では、次の４つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　地域への愛着と誇りが持てるまち

●区民が地域への愛着と誇りが持てるまちづくりを推進するため、小さな音楽会やサンフレッチェ応援プロジェクトなどの「魅力的なまちの顔づくり事業」や「ふるさと安佐南再発見事業」「安佐南マイタウンレポーター事業」を展開しています。

2　人と人のつながりを大切にするまち

●「花いっぱい運動」や「さわやかあいさつ運動」「区民交流駅伝大会」などの世代を超えた交流機会の確保を図り、区民のコミュニケーションの形成を促進しています。

●子育てオープンスペースの設置･運営や高齢者の見守り活動、防犯・防災活動など、住民が主体となって生活課題を解決する活動を支援するとともに、担い手の発掘・育成に取り組んでいます。

3　土と緑に親しみ、自然の恵みと環境を大切にするまち

●沼田町戸山地区の農地や里山、森林を生かした、農業や林業を体験する催し、食糧難の国へ米を送る「海外援助米生産事業」などを開催することにより、農業への参画や都市と農村との交流を促進し、農村の活性化を図ります。

●緑井町権現山での竹林整備活動や自然観察会など、自然環境の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

4　地域と大学の交流と連携により、元気あふれるまち

●「あさみなみ区民大学」の運営など区内の大学と連携した区民の生涯学習の場の拡充に取り組みます。

●学生の地域行事やまちづくり活動への参加を促進するなど、地域と大学の交流と連携を深めています。

安佐北区

人口 142,518 人　世帯数 65,981 世帯　面積 353.33 ㎢

太 田 川

安佐北区のまちづくりの方向性（基本方針）

- ○　都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり
- ○　支え合いの心を育み、住み続けられるまちづくり
- ○　自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり
- ○　みどりの恵みが実るまちづくり
- ○　安全で災害に強いまちづくり

◆　市の最北部に位置し、安芸太田町、北広島町、安芸高田市、東広島市と接しています。東西に 32.9km、南北に 21.8km の広がりを持ち、面積は 353.3 ㎢と８区の中で一番広く、市域の約４割を占めています。人口は約 14 万 3 千人です。

◆　広島市と合併した旧安佐郡北部の安佐町、可部町、高陽町、旧高田郡白木町からなり、山地が多く、低地は、太田川、三篠川沿いに形成され、この低地に隣接して丘陵地がある、豊かな自然環境に恵まれた区です。

◆　主な水源は太田川、根谷川、三篠川であり、交通インフラとしては JR 可部線や芸備線、県北や山陰とを結ぶ一般国道 54 号、183 号、191 号、261 号、県道広島三次線などが走り、丘陵部では数多くの住宅団地が開発されています。

ひろしま北里山キング認定制度

あさきた神楽発表会

可部線電化延伸を契機としたまちづくり

【区の魅力と活力推進事業】

安佐北区では、次の６つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　ふるさとの自然発見

●可部連山トレイルラン in あさきたの開催

安佐北区の豊かな自然を活用したトレイルランニング大会を開催し、区の魅力ＰＲやスポーツ振興を図るとともに、大会運営を通じて地域団体間の交流促進を進めています。

●ひろしま北里山キング認定制度の運用

北部４市町（安佐北区、安芸高田市、安芸太田町、北広島町）が連携して、共通の魅力である里山の登頂認定制度を実施し、市町間の交流人口の増加と地域の活性化を図っています。

2　ふるさとの歴史・文化発見

●あさきた神楽発表会の開催

区内の神楽団体が一堂に会して舞などを披露する「あさきた神楽発表会」を開催し、安佐北区の神楽文化の魅力を区民が親しみ、継承していく気運を盛り上げています。

3　まちなか元気づくり

●可部線電化延伸を契機とした可部のまちづくり

ＪＲ可部線の電化延伸を契機とし、可部線の駅を発着とするまち歩き事業など新たなまちづくりを進めています。

4　地域のきずなづくり

●あさきた元気フェスタの開催

安佐北区の魅力を集めた「あさきた元気フェスタ」を開催して、住民主体によるまちづくりを担うリーダーの育成などを図ることで、地域コミュニティの活性化を進めています。

5　実りの里づくり

●実りの里づくりの展開

住民主体の活性化ビジョン策定や実践活動（地域コミュニティの強化、都市農村交流の推進などによる都市住民の定着、農地や森林の活用など）を支援することで、農村の活性化を進めています。

6　災害に強いコミュニティづくり

●災害に強いコミュニティ“あさきた”をつくろう

若者と住民の交流による防災研修や実践を通じた防災プログラムづくりなどを支援することで、地域防災力の向上やコミュニティ活性化を図っています。

安芸区

人口 78,967 人　世帯数 35,748 世帯　面積 94.08 ㎢

海田町との連携による芝桜の植付

安芸区のまちづくりの方向性（基本方針）
- ○　人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり
- ○　豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり
- ○　ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり
- ○　東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり

◆　市の東部に位置し、旧安芸郡の瀬野川町・熊野跡村（現在の阿戸町）・船越町・矢野町からなっています。
◆　瀬野川地区は、国道２号沿いに自動車や食品関係の工場が建ち並び、山間部では田園風景と新旧の住宅地をみることができ、新規の大規模住宅団地に住宅の建築が進んでいます。
◆　阿戸地区は、面積の大部分が山林と農地で占められ、熊野川を中心に静かなたたずまいをみせるまちで、農業振興地域となっています。
◆　船越地区は、安芸区で最も人口密度の高い地区で、沿岸部の工業地区と山地部寄りの住宅地区からなっています。
◆　矢野地区は、平地部は昔ながらの住宅地、丘陵部は新興の住宅団地となっています。また、沿岸部では、完成した工業団地へ企業が進出しています。

里山あーと村　森のジャズライブ

見ぬ友と心結ぶのろしリレー

歴史散策会「西国街道を歩こう」

【区の魅力と活力推進事業】
安芸区では、次の４つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　地域のきずなづくり

●花と緑と音楽のまちづくり
区内の花づくり活動を行う団体等の育成・支援や、隣接する海田町との連携により、活動の輪を広げ、花と緑にあふれるまちづくりを進めています。また、“花と緑”に“音楽”を加え、花と音楽にあふれるまちづくりを安芸区民文化センター主催の「あきクラシックコンサート」等との連携により進めています。

●安芸地区交流まつりの開催
隣接する府中町、海田町、熊野町、坂町と日常生活圏が一体化していることから、安芸地区の住民の交流を図るため、「安芸区民まつり」に合わせて「安芸地区交流まつり」を開催しています。

●瀬野川健康ウオーキング
安芸区と海田町の住民の交流と健康づくりを推進するため、瀬野川の河川敷を活用して、ウオーキング大会を開催しています。

2　みんなでつくる元気なまち

●里山あーと村ふるさと起こし
阿戸地区の里山を活用し、都市と農村の住民交流を図るため、様々な農林業体験や「森のジャズライブ」などのイベントなどを行っています。

3　自然にふれるやすらぎの空間づくり

●見ぬ友と心結ぶのろしリレー
絵下山をスタートし、全国をのろしで結ぶ「見ぬ友と心結ぶのろしリレー」を行い、絵下山の魅力を全国に発信しています。

4　ふるさと魅力活用

●ハイキングコースの整備
里山を気軽に楽しむことができるよう、市民ボランティアと一緒に、ハイキングコースの整備やマップの作成を行っています。

●瀬野川を活かそうプロジェクト・ふるさと散策の推進
市民ボランティアと一緒に、瀬野川流域の自然環境や西国街道などの魅力資源を活用した歴史散策会「西国街道を歩こう」を実施し、区民が地域の魅力を知り、「ふるさと」として親しみを感じることができるまちづくりを進めています。

佐伯区　さえあい　えがおあふれる　きぼうのまち

人口 140,648 人　世帯数 63,054 世帯　面積 225.43 ㎢

八幡川リバーマラソン

佐伯区のまちづくりの方向性（基本方針）
- ○　自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり
- ○　人に優しく、快適で安全・安心なまちづくり
- ○　地域力を高め、元気で活力のあるまちづくり
- ○　人が集い交流する、にぎわいのあるまちづくり

◆　市の西部に位置し、東は西区、安佐南区、安佐北区に、西は廿日市市に、北は安芸太田町に接しています。

◆　区の南部は、八幡川沿いに広がった平野部が、極楽寺山・窓ケ山・鈴ケ峰などの山々で形成される山地部に取り囲まれています。北部は、太田川水系水内川が東西に貫流し、その上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流ではやや広がりを持った河川沿いの平地に比較的まとまった集落が形成されています。

◆　区の南部では、山陽自動車道、西広島バイパス、JR 山陽本線、広島電鉄宮島線、一般国道２号、臨港道路廿日市草津線が東西に走り、さらに、広島港五日市埠頭や都市計画道路駅前線の整備が進むなど、広島都市圏西部の拠点となっています。

◆　一方、湯来地区は、広島の奥座敷として親しまれてきた「湯来温泉」や旧広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」をはじめ、緑の山と清らかな水、澄んだ空気に象徴される恵まれた自然資源を有しています。

湯ノ山明神旧湯治場（本殿・拝殿・湯屋）

佐伯区まちづくり百人委員会の活動

アートフェスタ佐伯区

【区の魅力と活力推進事業】

佐伯区では、次の３つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1　地域資源を生かしたまちづくり

海、川、山の自然環境や歴史、文化、温泉等の地域資源を生かしたまちづくりを進めています。

●湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進

国重要有形民俗文化財「湯ノ山明神旧湯治場」のある湯の山温泉一帯の魅力を広く発信し、来訪者を増やす取組を行っています。

2　地域力を高めるまちづくり

住民が主体的に活動し、地域コミュニティをはぐくみ、支え合うまちづくりを進めています。

●町内会の加入促進

地域コミュニティの活性化や住民同士の共助意識の育成につながる取組を行っています。

●区民主体のまちづくりの推進

「佐伯区まちづくり百人委員会」を設置し、まちづくりのテーマ別に組織した、花部会、高齢者活性化部会、商店街部会、町内会いきいき部会、災害に強いまちづくり部会の５つの部会で、区民が主体となって活動しています。

3　人が集い交流するまちづくり

イベント、祭りなどの地域活動、観光の振興などを進め、活発な交流やにぎわいのあるまちづくりを進めています。

●アートフェスタ佐伯区の開催

区内の芸術家・文化団体等によるステージやコンサート、絵画や写真などの作品を展示するまちかどギャラリーを開催し、芸術文化の発表や鑑賞の場を増やす取組を行っています。

●西国街道プロジェクトの実施

佐伯区内には神社仏閣や古くからの湯治場など、豊富な歴史資源があり、その一つ「西国街道」について、まちあるきイベントやマップの作製など、近隣市町とも連携しながら取り組んでいます。

広島市総合計画

総合計画は、幅広い市民生活に関わる広島市の仕事を、計画的･効率的に行うための基本的な方向を定めるもので、広島市が策定する全ての計画の最上位に位置付けられるものです。

この総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成され、広島市では、これらを基に毎年度の予算を編成し、具体的な施策を進めています。

広島市では、少子化･高齢化、人口減少や地域コミュニティの活力低下への対応など様々な課題に直面する中、広島市のより一層の発展に向けた施策を展開していくため、令和 2 年(2020 年)6 月に広島市議会の議決を経て、「広島市基本構想」を改定するとともに、「第 6 次広島市基本計画」を策定しました。また、同年 7 月には、「広島市実施計画(2020-2024)、第 2 期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略」を策定しています。

【広島市総合計画の体系】

基本構想
広島市の都市像とそれを実現するための施策の構想を定めるもので、市議会の議決を経て策定します。

↓

基本計画
基本構想を達成するための施策の大綱を総合的・体系的に定める長期計画で、市議会の議決を経て策定します。

↓

実施計画
基本計画の実施のために必要な事務事業の計画や財政計画を定める中期計画です。

↓

毎年度の予算編成

広島市基本構想

1　都市像

広島市の都市づくりの最高目標となる都市像は「国際平和文化都市」です。この都市像は、広島市が初めて基本構想を策定した昭和 45 年(1970 年)から継承しています。

2　施策の構想(構成のみを掲載)

国際平和文化都市の具現化に当たり、三つの要素を基に、次のとおり施策の構想を定めています。

●世界に輝く平和のまち
- ⑴ 「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり

●国際的に開かれた活力あるまち
- ⑴ 活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり
- ⑵ 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

●文化が息づき豊かな人間性を育むまち
- ⑴ 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり
- ⑵ 保健･医療･福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり
- ⑶ 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

第 6 次広島市基本計画

令和 2 年度(2020 年度)から令和 12 年度(2030 年度)までを計画期間として、次のとおり分野ごとに施策の大綱を定めています。また、計画の推進に当たっては、市民主体のまちづくりや持続可能な行政経営の推進といった点に留意しながら、施策を展開することを定めています。

1 「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり

- ⑴ 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現
- ⑵ 「ヒロシマの心」の共有の推進
- ⑶ 世界の平和と人権問題の解決など市民生活の安寧の確保に向けた貢献

2　活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり

- ⑴ 都市機能の充実強化
- ⑵ 産業の振興
- ⑶ 観光の振興
- ⑷ 国際交流･国際協力や多文化共生の推進

3　地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

⑴　デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり

⑵　区における住民を主体としたまちづくり活動の充実

⑶　広島広域都市圏の発展への貢献

4　多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり

⑴　高齢者や女性を始め全ての市民の意欲と能力が発揮できる環境づくりの推進

⑵　文化・スポーツの振興

⑶　地域コミュニティや多様な市民活動の活性化

5　保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり

⑴　地域共生社会の実現

⑵　保健・医療・福祉の充実

⑶　未来を担う子どもの育成と教育

6　安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

⑴　安全・安心に暮らせる生活基盤の整備

⑵　環境と調和した循環型社会の形成

●持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた施策の推進

広島市が従来から目指している「平和」（※）の実現とSDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会の実現は方向性が一致しています。

このため、基本計画とSDGsの 17 のゴールとの対応関係を示すことで、市民はもとより国内外の人々の共感を得ながら基本計画に基づく取組を推進しています。

SDGsのロゴ

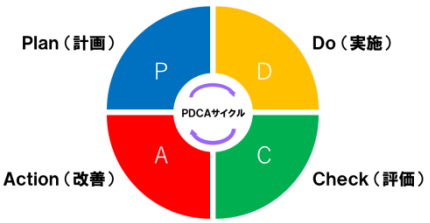
※　単に戦争がない状態にとどまらず、良好な環境の下に人類が共存し、その一人一人の尊厳が保たれながら人間らしい生活が営まれている状態のこと。

広島市実施計画、第 2 期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略

令和 2 年度(2020 年度)から令和 6 年度(2024 年度)までを計画期間として、第 6 次広島市基本計画の実施のために必要な事務事業の計画及び財政計画や、人口減少に歯止めを掛け、将来にわたって活力ある地域社会を維持するための施策及び事務事業を定めています。

●PDCAサイクルの実施

広島市では、この計画に基づいて実施した施策や事業の効果について、設定した重要業績評価指標（KPI）を基に、経済団体、教育機関等で構成する「広島の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議」等の意見を踏まえ検証を行い、必要に応じて計画を改訂するというPDCAサイクル（※）を行っています。



※　Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の 4 つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

200万人広島都市圏構想

2015 年 10 月の国勢調査では、調査が始まって以来、日本の総人口が初めて減少しました。

このまま人口減少や少子高齢化が進むと、経済活動の停滞や市民生活への悪影響を招く恐れがあります。

広島市の経済活動は、近隣市町から働きに来る人や広島市で生産された産品・製品の近隣市町での消費などに支えられており、これらの近隣市町を含めた都市圏全体として活性化を図ることで、人口減少に歯止めを掛ける必要があります。

このため、広島広域都市圏の各市町が、自らだけの発展を目指す旧来の考え方を改めて、圏域全体で必要な施策について実現可能性を探り、圏域全体の持続的な発展を目指す施策を着実に実行していくことが重要と考え、「200万人広島都市圏構想」の実現に向けた取組を進めています。

広島広域都市圏とは

本市の都心部からおおむね 60km、車で約 1 時間の圏内の経済面や生活面で深く結び付いている 24 市町で構成しており、1993 年から圏域の一体的発展に向けた連携・交流を推進しています。

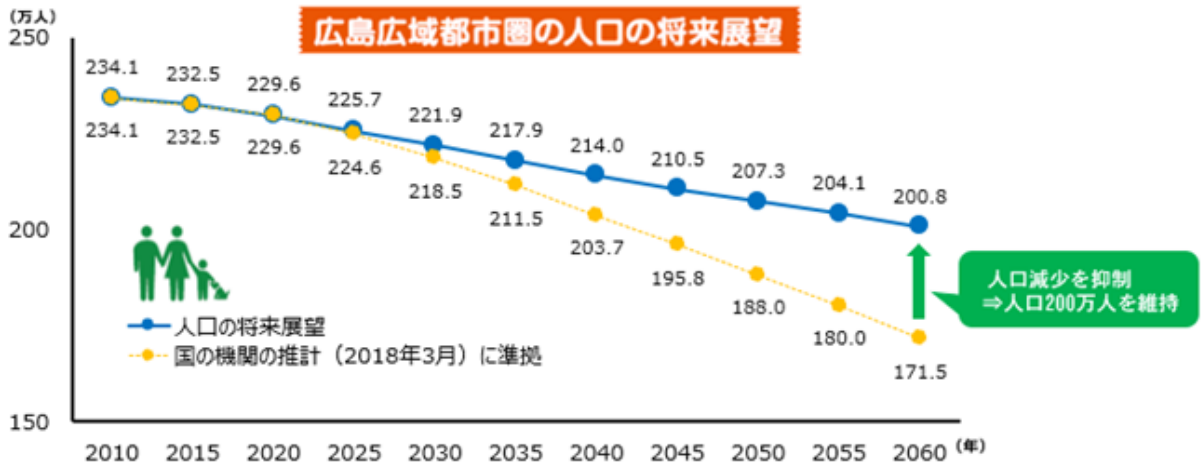
広島広域都市圏全体の人口　2，292，748人

市町名		人口	市町名		人口
広島県	広島市	1,194,817	広島県	坂町＊	12,978
	呉市	217,690		安芸太田町	6,034
	竹原市	24,538		北広島町	18,220
	三原市	91,990		大崎上島町	7,332
	大竹市＊	26,611		世羅町	15,723
	東広島市	189,369	山口県	岩国市	132,171
	廿日市市＊	117,024		柳井市	31,087
	安芸高田市＊	28,039		周防大島町	15,242
	江田島市＊	22,356		和木町	6,185
	府中町＊	52,101		上関町	2,593
	海田町	30,335		田布施町	15,002
	熊野町	23,711		平生町	11,600

資料：住民基本台帳人口　2020 年 12 月末日現在（＊2021 年 1 月 1 日現在）

広島広域都市圏の人口の将来展望

現在の圏域人口は約 230 万人ですが、国の推計によると、2045 年には 200 万人を割って、それ以降も減少すると見込まれています。そのため、各市町が一丸となってこれに立ち向かい、圏域経済の活性化と圏域内人口 200 万人超の維持を目指します。



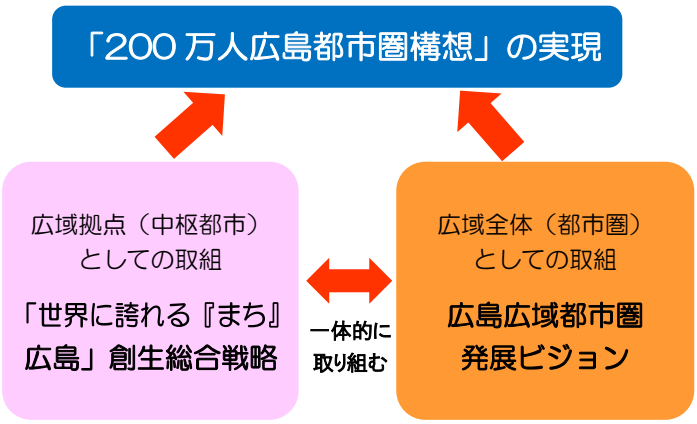
「200万人広島都市圏構想」の実現に向けた取組

住民が愛着と誇りを持てる、誰もが住み続けたい、住んでみたい広島広域都市圏を形成するため、本市は圏域の発展をけん引するエンジンとしての役割を担います。

令和 2 年(2020 年)7 月に策定した「広島市実施計画(2020-2024)、第 2 期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略」(以下「「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略」という。)に基づき、出生率の向上と若い世代の人口の確保を着実に進め、人口減少に歯止めを掛けることで、人口規模と経済力等を兼ね備えた「世界に誇れる『まち』広島」を実現し、広島広域都市圏の発展をけん引します。

また、平成 28 年(2016 年)3 月に策定した広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、都市圏が目指す 3 つの将来像の実現に向けた積極的な取組を行うことで、それぞれの個性をいかして輝くことができる圏域づくりを行います。

「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略と広島広域都市圏発展ビジョンの取組を一体的に展開することで、「200 万人広島都市圏構想」の実現を目指します。



「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略に掲げる3つの基本目標とその取組

「世界に輝く平和のまち」、「国際的に開かれた活力あるまち」、「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」を基本目標に掲げ、前述の「広島市総合計画」に記載の施策体系に基づき取組を進めます。

広島広域都市圏発展ビジョンに掲げる3つの将来像とその取組

●【経済面】 ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏

⑴ ローカル経済圏の構築に向けた仕組みづくり
⑵ 中小企業の振興、成長産業の育成
⑶ 観光客の誘客の推進、滞在型観光の拡大
⑷ 里山・里海産業の支援、「若者人財」の地産地活

●【生活面】 どこに住んでも安心で暮らしやすい都市圏

⑴ 高度な医療サービスの提供
⑵ 圏域内の公共交通網等の充実・強化
⑶ 大学等との連携による地域貢献人材の育成

●【行政面】 住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏

⑴ 地域医療・子育て支援・教育の充実
⑵ 農業の担い手や雇用機会の確保、地域資源の活用
⑶ 結び付きやネットワークの強化

核兵器廃絶に向けた取組

平和首長会議

● 概要

1945 年 8 月、広島・長崎両市は原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて 21 万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から 75 年以上が経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを生き残った市民に残しています。被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを世界の人々に広げ、次の世代にも受け継いでいくために、広島・長崎両市は一貫して世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求め続けてきました。

1982 年 6 月 24 日、荒木武 広島市長（当時）は、米国・ニューヨーク市の国連本部で開催された第 2 回国連軍縮特別総会において、世界の都市に国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り開こうと呼び掛けました。また、広島・長崎両市は、この呼び掛けに賛同する都市（自治体）で構成する機構として、世界平和連帯都市市長会議（現・平和首長会議）を設立しました。1991 年には、国連経済社会理事会の NGO に登録されています。

※ 2001 年 8 月 5 日、「世界平和連帯都市市長会議」から「平和市長会議」に、2013 年 8 月 6 日に「平和首長会議（へいわしゅちょうかいぎ）」に名称変更しました。

● 目的

平和首長会議は、加盟都市相互の緊密な連帯を通じて核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす飢餓・貧困等の諸問題の解消さらには難民問題、人権問題の解決及び環境保護のために努力し、もって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

● 加盟都市数（2020 年 12 月 1 日現在）

165 か国・地域
7,974 都市
（国内 1,733 都市）

エリア名	国・地域数	加盟都市数
アジア	31	3,241
オセアニア	9	131
アフリカ	49	436
ヨーロッパ	48	3,103
北アメリカ	3	328
ラテンアメリカ・カリブ海地域	25	735

地域：台湾・パレスチナ・北キプロス（アジア）、北マリアナ諸島・仏領ポリネシア（オセアニア）、ソマリランド（アフリカ）、グリーンランド（北アメリカ）、プエルトリコ（ラテンアメリカ・カリブ海地域）

● 2020 ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）

2020 ビジョンは、2020 年末をもって終了しました。

次期ビジョン及び行動計画は、新型コロナウイルスの感染拡大により、2021 年 8 月を目途に延期となった第 10 回平和首長会議総会時に策定します。

2020 ビジョンに基づく具体の取組を記載している行動計画（2017 年-2020 年）については、それまで暫定的に終期を延長することとし、取組を継続します。

(1) 概要

平和首長会議は、被爆者の存命のうちに核兵器廃絶を実現したいと願い、 2003 年 10 月に 2020 年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020 ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、加盟都市やその市民、NGO 等と連携しながら、核兵器廃絶に向けた様々な活動を展開しています。

「2020 ビジョン」は、欧州議会、全米市長会議、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）、都市・自治体連合（UCLG）、全国市長会（日本）、日本非核宣言自治体協議会等から支持をいただいています。また、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、核兵器の完全廃絶は国連の最も重要な軍縮の優先課題であり、広島・長崎と共に全力を尽くしていくとのメッセージを発信されています。

※ 2020 ビジョン（にいまるにいまるびじょん）

平和 NGO 主催行進への参加
（2015 年 4 月 ニューヨーク市）

(2) 目標

ア 全ての核兵器の実戦配備の即時解除

世界には今もなお、多数の核兵器が実戦配備されている。世界の市民がこうした脅威に直面している中、誤使用も含めた核兵器の使用を回避するため、全ての核兵器の実戦配備を即時解除することを求める。

イ 「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉の開始

核兵器の全面的廃絶に対する核兵器保有国の明確な約束等これまでのNPT再検討会議等での国際合意を根拠に、各国政府に「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉を開始するよう求める。

ウ 「核兵器禁止条約」の締結

核兵器の開発、製造、実験、備蓄、使用等の禁止及びその廃絶について規定する「核兵器禁止条約」が締結されるよう、各国政府等に要請する。

エ 2020 年を目標とする全ての核兵器の解体

厳格な国際管理の下、被爆 75 周年となる 2020 年までに地球上の全ての核兵器を解体することにより、核の恐怖から解放された平和な世界の実現を目指す。

(3) 具体的な取組

目標年次である 2020 年に向け、平和首長会議は、2017 年 8 月に長崎市で開催した第 9 回総会において、世界恒久平和への道筋として「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」の二つに取り組んでいくことを掲げた「平和首長会議行動計画（2017 年－2020 年）」を策定し、これに基づく取組を推進しています。

【主な取組】

ア 国連・各国政府に対する要請
イ 加盟都市の拡大
ウ リーダー都市を中心とした地域グループによる活動の展開
エ 被爆樹木の種・苗木の配付
オ 青少年「平和と交流」支援事業
カ 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動
キ 平和首長会議原爆ポスター展の開催
ク 平和教育の充実

署名活動に従事した高校生による国連関係者への署名の手交
（2019 年 4 月 ニューヨーク市）

原爆被爆者

原爆死没者の慰霊

広島平和都市記念碑

平和記念公園内にある広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）には、広島市原爆死没者名簿が納められています。

この名簿は毎年 8 月 6 日に挙行される原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式において追加奉納されており、令和 2 年(2020 年)8 月 6 日現在で、名簿に登載された原爆死没者は 32 万 4,129 人に及んでいます。

●広島市原爆死没者名簿奉納数　（単位：人）

奉納年月日	男	女	性別不詳	計
令和元年(2019 年)8 月 6 日現在奉納数	170,174	148,953	59	319,186
令和2年(2020 年)8 月 6 日追加奉納数	2,146	2,797	0	4,943
計	172,320	151,750	59	324,129

資料：原爆被害対策部調査課

被爆者健康手帳

被爆者健康手帳は、その人が原子爆弾による被爆者であることを示す一種の証明書であり、平成 6 年(1994 年)に制定された「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき交付されています。手帳の所持者数は被爆者の高齢化とともに減少傾向にあります。

●被爆者健康手帳交付状況　（単位：人）

年 次	総 数（※）	増 加 分				減 少 分		
		総 数	新 規	受診者証からの切 替	転入等	総 数	死 亡	転出等
平成30年度(2018年度)	47,632	175	23	9	143	2,927	2,728	199
令和元年度(2019年度)	44,836	143	13	9	121	2,939	2,797	142

資料：原爆被害対策部援護課　　注：※は年度末現在の手帳交付数

原爆症認定

原爆症認定とは、原子爆弾の放射線が原因となって起こった病気やけがについて、現在、医療を必要とする状態にあるという厚生労働大臣の認定を受けることをいいます。

原爆症認定を受けた病気やけがは、厚生労働大臣指定の医療機関等で全額国費をもって医療を受けることができます。また、原爆症認定を受けた病気やけがが、医療を必要とする状態が継続している間は、医療特別手当が支給されます。

●広島市において原爆症認定を受けている方の数（各年度末現在）　（単位：人）

年 度	平成 26 年度 (2014 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
人 数	4,034 (604)	4,058 (675)	4,107 (771)	4,061 (862)	3,950 (898)	3,862 (906)

注：()内は、原爆症認定を受けた病気やけがが、医療を必要とする状態でなくなった方の数で内数。
資料：原爆被害対策部援護課

姉妹・友好都市

本市では、7都市と姉妹・友好都市提携を結び、さまざまな交流活動を行っています。

ホノルル市（アメリカ合衆国）

広島市の最初の姉妹都市。両市民は第二次世界大戦で戦禍を体験し、平和を願う気持ちが強く、またホノルル市には広島出身の移住者が多いことから、提携に至りました。ハワイ州の州都として政治や経済の中心地であり、美しい風景とリゾート地、快適な気候が多くの観光客をひきつけています。

令和元年(2019 年)には、提携 60 周年を記念して、両市代表団等が相互訪問を行いました。(昭和 34 年(1959 年)提携)

ボルゴグラード市（ロシア連邦）

両市とも第二次世界大戦により未曾有の被害を受け、平和を願う気持ちが強いことから、姉妹都市提携に至りました。カスピ海に注ぐ南西部の大河、ボルガ川の下流域にあり、主要産業を有するロシア有数の都市として、産業・経済・文化活動も盛んです。

広島市の平和記念式典には、代表団が度々参列しています。また、平成 24 年(2012 年)には、提携 40 周年を記念して、市長をはじめとする代表団の相互訪問が行われました。

(昭和 47 年(1972 年)提携)

大邱広域市（大韓民国）

主にスポーツの分野で交流が行われていましたが、平成 6 年(1994 年)のアジア競技大会を契機に友好促進の気運が高まり、姉妹都市提携に至りました。

韓国東南部の経済・教育・文化の中心で、繊維産業、機械設備産業などが盛んです。周辺の慶州、安東等への観光の拠点として、観光振興にも力を注いでいます。平成 29 年(2017 年)には、提携 20 周年を記念して、両市代表団等が相互訪問を行いました。

(平成 9 年(1997 年)提携)

ハノーバー市（ドイツ連邦共和国）

両市間で青少年交流を中心とした 10 数年に及ぶ様々な分野での交流が積み重ねられ、提携に至りました。

ドイツ北部に位置するニーダーザクセン州の州都で、第二次世界大戦の空襲により破壊されながらも、戦後、中世からの伝統ある優れた都市計画のもと、再び「緑の中の大都市」と呼ばれる街に成長しました。平成 25 年(2013 年)には、提携 30 周年を記念して、両市代表団が相互訪問を行いました。

(昭和 58 年(1983 年)提携)

モントリオール市（カナダ）

広島市長が昭和 61 年(1986 年)に、モントリオール市で開催された「平和と安全に関する国際会議」で講演したことを契機に両市の交流が始まり、姉妹都市提携に至りました。

ケベック州最大の都市で、カナダ 3 大都市の一つです。国際都市としての一面と、古きヨーロッパの伝統と文化の趣を兼ね備えた都市です。平成 30 年(2018 年)には提携 20 周年を記念して、本市へ市長等訪問団を迎え記念事業を行うとともに、本市から芸術団を派遣しました。(平成 10 年(1998 年) 提携)

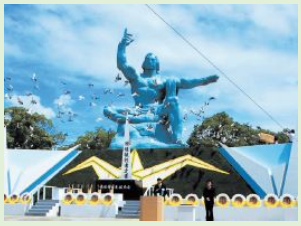
重慶市（中華人民共和国）

昭和 55 年(1980 年)から、両市関係者の相互訪問を始め、様々な分野での交流を重ねていたことから友好都市提携に至りました。

中国西南部最大の商工業中心地で、直轄市としては中国で最も人口が多い都市です。水と緑に恵まれ、多数の文化財や景勝地など観光資源も豊かな都市です。

平成 23 年(2011 年)8 月及び 11 月に副市長等が重慶市を訪問しました。 平成 28 年(2016 年)には、友好都市提携 30 周年を迎えました。 (昭和 61 年(1986 年)提携)

長崎市（日本）



被爆 30 周年を契機に、更に友好と提携を深め、被爆都市としての使命を果たすことにより、世界の平和と人類の福祉に寄与することを誓い、平和文化都市として提携しました。

平成 29 年(2017 年)8 月には、第 9 回平和首長会議総会が同市で開催され、「ナガサキアピール」及び「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」が採択されました。

(昭和 50 年(1975 年)提携)

主要行事・イベント

春

広島みなとフェスタ

さくらまつり

ひろしまフラワーフェスティバル

夏

とうかさん大祭／ゆかたできん祭

広島みなと　夢　花火大会

ピースメッセージとうろう流し

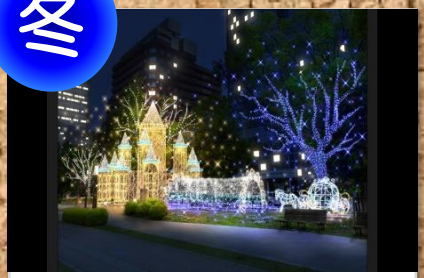
秋

ひろしまフードフェスティバル

胡子大祭／えべっさん

ひろしま国際平和マラソン

冬


ひろしまドリミネーション

ひろしま男子駅伝

広島市水産まつり

3月　広島みなとフェスタ	4月　さくらまつり(広島市植物公園)	5月　ひろしまフラワーフェスティバル
6月　とうかさん大祭/ゆかたできん祭	7月　広島みなと　夢　花火大会	8月　ピースメッセージとうろう流し
10月　ひろしまフードフェスティバル	11月　胡子大祭/えべっさん	11月　ひろしま国際平和マラソン
12月　ひろしまドリミネーション	1月　ひろしま男子駅伝	2月　広島市水産まつり

※　新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止したイベント等があります。

世界一・日本一

路面電車
編成数・年間輸送人員日本一

令和２年(2020 年)３月末現在、路面電車の編成数は 138 編成、年間輸送人員は 3,783 万人で、それぞれ日本一です。

水辺のオープンカフェ
日本初の河川空間の民間常設型店舗

「水の都ひろしま」の実現に向けて、京橋川右岸河岸緑地内に、全国で初めて民間事業者が営業する飲食店舗を常設しました。

バウムクーヘン
世界一の長さ

似島は日本のバウムクーヘン発祥の地と言われており、日本で初めてお披露目されて 100 年を記念して、世界一長いバウムクーヘン作りに挑戦し、ギネス世界記録(20.87m)に認定されました。

広島市まんが図書館
公立で全国唯一の漫画専門館

広島市まんが図書館は、平成９年(1997 年)５月１日、公立で初めての漫画専門の図書館として開館しました。令和２年(2020 年)３月末現在で、約 15 万 5,000 冊の蔵書数を誇ります。

オオサンショウウオ
世界初の飼育下での三世誕生

広島市安佐動物公園は平成 19 年(2007 年)10 月 19 日、飼育下での三世誕生に世界で初めて成功しました。

アストラムライン
新交通システムの長さ日本一

令和２年(2020 年)３月末現在、アストラムラインの営業キロは全長 18.4km で、新交通システムの長さとしては日本一です。

広島国際アニメーションフェスティバル
日本で唯一のアカデミー賞公認のアニメーション映画祭

アニメーション芸術を通じ、愛と平和を希求することを目的に、昭和60年(1985年)から隔年で開催してきており、世界四大アニメーション映画祭の一つに数えられています。

ザ・広島ブランド、ひろしまそだち

ザ・広島ブランド

広島の特産品で特に優れたものを「ザ・広島ブランド」として認定し、広くPRすることで、知名度をより高めその消費拡大を図るとともに、広島のイメージを向上させ、地域経済の活性化及び誘客の促進を図ります。

ロゴマーク
折り鶴から発想した折り紙をモチーフにし、広島の頭文字「h」を折り紙で折ったイメージで広島らしさを表現しています。また、確かな品質が保証されているという意味で使われる「折り紙付き」という意味も込めています。

「ザ・広島ブランド」認定特産品一覧

（令和 2 年(2020 年)12 月 31 日現在）

区分	認定産品名	事業者
食品（68）	広島産大羽いりこだし	味日本株式会社
	焼きモンブラン	株式会社アルファ
	まるごとちりめん煎餅	有限会社石野水産
	あなご竹輪	株式会社出野水産
	広島県産大豆きな粉 広島県産原料使用だんごの粉	株式会社上万糧食製粉所
	麺匠碓井　広島中華そば	株式会社うすい中華
	本洲一　無濾過本醸造	合名会社梅田酒造場
	みっちゃん総本店 冷凍お好み焼	株式会社ISE広島育ち
	さざれ石 浜の松茸	株式会社大崎水産
	鶴亀もなか	株式会社御菓子所高木
	オタフクお好みソース オタフク広島限定お好みソース お多福　純米酢　500ml	オタフクソース株式会社
	採れたて生搾り ゆずぽん酢しょうゆ 芳醇　天然かけ醤油	川中醤油株式会社
	草津かき	草津かき組合
	バームクーヘン「月・太陽」4号ギフト	株式会社櫟kunugi
	味感工房チルド広島流お好み焼	株式会社里吉製作所
	ミツワお好みソース 冷凍・冷蔵お好み焼 「お好み村」	サンフーズ株式会社
	かきの土手鍋の素 かきだし入りみそ	新庄みそ株式会社
	黒鯛みそ	瀬戸内みそ高森本店
	お好みソース　広島ぢゃけん	センナリ株式会社
	空ロママのソルティーミルクジャム	空ロママのみるく工房
	旅行の友（ふりかけ）	田中食品株式会社
	江波せんべい海鮮しぼり焼牡蠣	巴屋清信有限会社
	本格芋焼酎　達磨　紅あずま25度	中国醸造株式会社
	広島の味　かきめしの素　かきめし かきしぐれ小箱・小間紙	有限会社珍味処なかむら
	もみじ饅頭 新・平家物語	株式会社にしき堂
	ねこしま広島菜漬　250g	株式会社猫島商店
	賀茂鶴日本酒ケーキ	株式会社広島アンデルセン
	しゃもじかきめし	広島駅弁当株式会社
	広島レモン「赤秀」 広島レモンサイダー　海人の藻塩プラス	広島県果実農業協同組合連合会
	オイスターソース原液	広島県漁業協同組合連合会
	太田川しじみ	広島市内水面漁業協同組合
	JA広島市広島菜漬	広島市農業協同組合　広島菜漬センター

区分	認定産品名	事業者
食品（68）	こもち昆布	株式会社ヒロツク
	サクラ咲く　花ソーセージ	福留ハム株式会社
	もみじまんじゅう　こしあん 淡雪花	株式会社藤い屋
	吾作饅頭 広島名産柿羊羹　祇園坊	株式会社平安堂梅坪
	堀口のかき	堀口海産株式会社
	しゃもじかまぼこ	有限会社堀水産
	上煎黄奈粉	増田製粉株式会社
	かきの土手鍋の素	株式会社ますやみそ
	御馳走あなご旨味塩	有限会社マリンスター
	牡蠣まるごとせんべい	有限会社マルイチ商店
	広島かき味のり	丸徳海苔株式会社
	かきめし 瀬戸風味®	三島食品株式会社
	俵むすび	株式会社むさし
	からす麦の焼きたてクッキー　アーモンド 酒のいろいろ物語-広島銘酒スイーツジュレ-	株式会社モーツアルト
	八幡川　活性にごり酒	八幡川酒造株式会社
	広島産　窒素凍結　冷凍かき	山下水産株式会社
	桐葉菓 もみじ饅頭（こしあん）	株式会社やまだ屋
	レモスコ	ヤマトフーズ株式会社
	安藝紫 広島菜漬「安藝菜」	株式会社山豊
	米田海産の広島かき	米田海産株式会社
工芸品等（15）	熊野筆（書道筆）	株式会社一休園
	高盛絵	金城一国斎
	熊野化粧筆	株式会社晃祐堂
	宮島のロクロ細工	小林一松堂
	熊野筆（日本画筆・アニメ筆・絵手紙筆など）	株式会社松月堂
	化粧筆、宝飾・漆化粧筆	株式会社丹精堂
	エティモロゼ クッション グリップ付きかぎ針セット 「広島針」針仕事 針ものがたり	チューリップ株式会社
	Aiko Beads	トーホー株式会社
	各種手縫い針 Regal Brand	萬国製針株式会社
	ひろしま鯉のぼり	ひろしま鯉のぼり
	熊野筆（書筆）	株式会社仿古堂
	伝統的工芸品　広島仏壇	広島宗教用具商工協同組合
	宮島御砂焼	山根対厳堂

※事業者 50 音順

令和 2 年 12 月 31 日現在で、「味わいの一品」68 品、「匠の銘品」15 品、計 83 品を「ザ・広島ブランド」として認定しています。
詳しくは、広島市ホームページをご覧ください。

ひろしまそだち

◆　“ひろしまそだち”は、広島市内の農林漁業者が広島市内で生産した農林水産物及びその加工品です。産地が近いので新鮮、生産者が身近にいるので安心です。

◆　この良さを皆さんに知っていただくために、広島市食農コーディネーターや“ひろしまそだち”野菜アドバイザーを育成するとともに、“ひろしまそだち”地産地消協力店制度を設けています。
　皆さんも“ひろしまそだち”マーク（左図）のついた産品を見かけたら、ぜひ買って食べてみてください。

広島市内産の農林水産物等は、“ひろしまそだち”マークのついた出荷袋などで販売されています。

野菜アドバイザーの活動の様子

広島近郊6大葉物野菜

“ひろしまそだち”野菜アドバイザーは、小売店や料理教室で“ひろしまそだち”野菜の旬や食べ方などの情報を伝えるとともに、消費者ニーズを生産者に伝えます。

広島市内で多く生産されている、こまつな、サラダみずな、しゅんぎく、ほうれんそう、パセリ、青ねぎを広島近郊6大葉物野菜と名付け、積極的にPRしています。

協力店は、”ひろしまそだち”協力店証などが目印です

広島市食農コーディネーターは、農作物の栽培から収穫や調理体験などの食と農の理解を進める取組みについて、企画、助言、運営に携わる市民ボランティアです。

“ひろしまそだち”地産地消協力店制度は、“ひろしまそだち”産品を通じた地産地消を進めるため、生産者と消費者の橋渡し役として積極的に産品を販売・利用する小売店や直売所、飲食店、事業所を募集・登録するものです。

名誉市民・特別名誉市民

本市では、昭和 37 年(1962 年)から広島市名誉市民条例により、市民又は市に縁故の深い人で、公共の福祉を増進し、又は学術技芸の進展に貢献し、その功績が卓絶で郷土の誇りとして市民から深く尊敬されている人に対し“広島市名誉市民”の称号を贈っています。

また、本市を来訪した外国人で、国際親善その他の目的で特に関わりの深い人に対し“広島市特別名誉市民”の称号を贈っています。

名誉市民(21 名)

氏　名	顕彰年月日	備　　考
浅野長武(あさのながたけ)	昭和 38 年(1963 年)12 月 10 日	私財を寄附、本市の教育文化厚生施設等の建設に貢献(昭和 44 年(1969 年)死亡)
佐藤信安(さとうのぶやす)	〃	13 代広島市長として市政の発展に貢献(昭和 39 年(1964 年)死亡)
森戸辰男(もりとたつお)	〃	広島大学学長として、地方文化、教育の発展に貢献(昭和 59 年(1984 年)死亡)
愛宮真備(えのみやまきび)	昭和 43 年(1968 年)4 月 1 日	被爆後、ドイツより帰化、原爆の惨禍と世界平和の尊さを国内・外に訴え、広島平和記念聖堂の建立に貢献(平成 2 年(1990 年)死亡)
松坂義正(まつざかよしまさ)	昭和 49 年(1974 年)4 月 1 日	原爆被爆者の救援・障害の調査・研究に貢献(昭和 54 年(1979 年)死亡)
田中好一(たなかこういち)	〃	地域経済、私学教育の振興など社会の発展に貢献(昭和 56 年(1981 年)死亡)
重藤文夫(しげとうふみお)	昭和 50 年(1975 年)7 月 17 日	原爆病院(現　広島赤十字・原爆病院)の設置及び被爆患者の治療など被爆市民の福祉向上に貢献(昭和 57 年(1982 年)死亡)
永野重雄(ながのしげお)	昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日	産業経済の発展、国際親善の進展に貢献(昭和 59 年(1984 年)死亡)
増本　量(ますもと　はかる)	〃	インバー及びエリンバー不変鋼に関する新法則並びに新合金の発見開発により世界金属界に貢献(昭和 62 年(1987 年)死亡)
森本　亨(もりもと　とおる)	〃	社会福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(昭和 62 年(1987 年)死亡)
灘尾弘吉(なだおひろきち)	昭和 59 年(1984 年)4 月 18 日	被爆者援護、教育・文化・スポーツの振興及び福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(平成 6 年(1994 年)死亡)
織田幹雄(おだみきお)	平成元年(1989 年)7 月 5 日	広島スポーツ界の競技力向上、スポーツの普及及び振興、第 12 回アジア競技大会の広島招致、第 1 回ワールドカップマラソン広島大会の開催に貢献(平成 10 年(1998 年)死亡)
島原帆山(しまばらはんざん)	〃	重要無形文化財尺八の保持者(人間国宝)、尺八の指導と演奏活動を通じ伝統文化の普及及び振興に貢献(平成 13 年(2001 年)死亡)
原田東岷(はらだとうみん)	〃	原爆被害者の治療・広島原爆被害者対策協議会の設立に尽力、世界平和の推進、文化振興に貢献(平成 11 年(1999 年)死亡)
平山郁夫(ひらやまいくお)	平成 10 年(1998 年)12 月 14 日	広島市現代美術館、広島市立大学、広島平和研究所の開設、原爆ドームの世界遺産一覧表への登録に尽力、文化の振興、平和の推進に貢献(平成 21 年(2009 年)死亡)
阿川弘之(あがわひろゆき)	平成 15 年(2003 年)4 月 2 日	原爆被害と人々の暮らしを描いた作品を発表、文学界に新境地を拓き、文学界の振興に貢献(平成 27 年(2015 年)死亡)
井口洋夫(いのくちひろお)	〃	有機半導体の概念を提示し確立、分子エレクトロニクスに至る広大な分野を開拓・先導、科学の進展に貢献(平成 26 年(2014 年)死亡)
新藤兼人(しんとうかねと)	〃	原爆の悲惨さや核実験による被爆の悲劇をテーマとした作品を通じて平和を訴えるなど、映像文化の振興に貢献、本市平和の推進と文化の振興に尽力(平成 24 年(2012 年)死亡)
三宅一生(みやけいっせい)	平成 22 年(2010 年)9 月 28 日	画期的な衣服の概念や斬新な発想で世界的な衣服デザイナーとして活躍するとともに、「ヒロシマの心」を広く世界にアピールし、芸術文化の振興や平和の推進に貢献(東京都渋谷区在住)
森下洋子(もりしたようこ)	〃	世界的なプリマバレリーナとして活躍するなど日本でなじみの少なかったクラシックバレエの定着に尽力し、芸術文化の振興に貢献(東京都港区在住)
坪井　直(つぼいすなお)	平成 30 年(2018 年)3 月 27 日	長年にわたる被爆体験証言及び国内外での核兵器廃絶に向けた活動により平和の推進に貢献するとともに、被爆者援護施策の充実にも貢献(広島市西区在住)

特別名誉市民(39 名)

氏　名	顕彰年月日	備　　考
ニール・ブレイズデル	昭和 38 年(1963 年)11 月 9 日	ホノルル市長として姉妹都市提携に尽力(昭和 50 年(1975 年)死亡)
ノーマン・カズンズ	昭和 39 年(1964 年) 3 月 3 日	原爆孤児に物心両面の援助など平和運動に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
アイラ・モーリス	昭和 42 年(1967 年)4 月 1 日	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和 47 年(1972 年)死亡)
エディタ・モーリス	〃	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和 63 年(1988 年)死亡)
バーバラ・レイノルズ	昭和 50 年(1975 年)10 月 15 日	日本及び世界各国で平和活動に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
メアリー・マクミラン	昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日	広島市での多年にわたる女子教育、平和教育、社会福祉などに貢献(平成 3 年(1991 年)死亡)
フランク・ファシー	昭和 56 年(1981 年)5 月 3 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(平成 22 年(2010 年)死亡)
フロイド・シュモー	昭和 58 年(1983 年)11 月 15 日	「ヒロシマの家」の建設・寄附を通じて平和運動に尽力(平成 13 年(2001 年)死亡)
アイリーン・アンダーソン	昭和 58 年(1983 年)11 月 19 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ヘルベルト・シュマルシュティーク	昭和 58 年(1983 年)11 月 28 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ウラジミル・アトポフ	昭和 60 年(1985 年)8 月 3 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)(平成 30 年(2018 年)死亡)
プリモ・ネビオロ	昭和 62 年(1987 年)4 月 8 日	国際陸上競技連盟会長としてワールドカップマラソンなど陸上競技の国際大会の広島開催に尽力(平成 11 年(1999 年)死亡)
シェイク・ファハド	昭和 62 年(1987 年)8 月 4 日	アジアオリンピック評議会会長として第 12 回アジア競技大会の広島開催決定に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
ユーリ・スタロバトフ	平成元年(1989 年)8 月 4 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
シャオ・ヤン 肖 秧	平成元年(1989 年)9 月 28 日	重慶市長として友好都市提携に尽力(平成 10 年(1998 年)死亡)
ソン・トンチュアン 孫同 川	平成元年(1989 年)10 月 11 日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
ルーベン・アコスタ・ヘルナンデス	平成元年(1989 年)11 月 20 日	国際バレーボール連盟会長としてバレーボール・ワールドカップの広島での開催に尽力(メキシコ在住)
ユーリ・チェーホフ	平成 4 年(1992 年)10 月 23 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラミー・ハリス	平成 11 年(1999 年)6 月 10 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ピエール・ブルク	平成 12 年(2000 年)7 月 10 日	モントリオール市長として姉妹都市提携に尽力(カナダ在住)
ムン・フィガブ 文 熹甲	平成 13 年(2001 年)5 月 2 日	大邱広域市長として姉妹都市提携に尽力(大韓民国在住)
エフゲニー・ペトロヴィッチ・イシュチェンコ	平成 17 年(2005 年)8 月 4 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラルド・トランブレイ	平成 18 年(2006 年)4 月 14 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
ワン・ホンジュ 王 鴻拳	平成 18 年(2006 年)5 月 21 日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
キム・ボミル 金 範鎰	平成 19 年(2007 年)5 月 4 日	大邱広域市長として姉妹都市交流に尽力(大韓民国在住)
シュテファン・ヴァイル	平成 20 年(2008 年)5 月 26 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ムフィ・ハネマン	平成 21 年(2009 年)11 月 5 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ダグラス・ロウチ	平成 22 年(2010 年)7 月 28 日	中堅国家構想名誉議長として平和運動に尽力(カナダ在住)
バン・ギムン 潘基文	平成 22 年(2010 年)8 月 6 日	国際連合事務総長として平和運動に尽力(アメリカ在住)
ピーター・カーライル	平成 23 年(2011 年)8 月 5 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ヴァレリィ・デニソヴィチ・ヴァシルコフ	平成 24 年(2012 年)11 月 9 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(平成 31 年(2019 年死亡))
ドニ・コデール	平成 26 年(2014 年)8 月 5 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
カーク・コールドウェル	平成 26 年(2014 年)8 月 5 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
クォン・ヨンジン 權 泳臻	平成 27 年(2015 年)5 月 4 日	大邱広域市長として姉妹都市交流に尽力(大韓民国在住)
アンドレイ・ウラジーミロヴィッチ・コソラポフ	平成 27 年(2015 年)8 月 5 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
シュテファン・ショストック	平成 27 年(2015 年)8 月 6 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ヌルスルタン・ナザルバエフ	平成 28 年(2016 年)11 月 9 日	カザフスタン大統領として平和運動に尽力(カザフスタン在住)
ラッシーナ・ゼルボ	平成 29 年(2017 年)8 月 5 日	包括的核実験禁止条約機関準備委員会事務局長として平和運動に尽力(オーストリア在住)
ヴァレリー・プラント	平成 30 年(2018 年)6 月 4 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)

広島の歴史

原始・古代

現在、市街地がある太田川下流域は、ほとんどが海中にあり、牛田・矢野・五日市や広島湾に浮かぶ島であった比治山に縄文時代の遺跡が、また、中小河川による沖積地を見下ろす丘陵を中心に、市内各地域に弥生時代の遺跡があります。

古墳時代前期になると、口田の中小田古墳群、緑井の宇那木山古墳群、神宮山古墳群など太田川流域に大型の古墳が築造されるようになり、後期になると可部や白木などの内陸地域でも古墳が盛んにつくられるようになりました。

律令制度下の地方政治は国府を中心に行われていました。

安芸国では西条(東広島市)又は府中(安芸郡府中町)に国府が設けられ、平安時代中期には既に府中にあったとされています。白木の三田郷などは国府と関係がありました。

律令制度が揺らぎはじめると、貴族・寺社や皇室は荘園を所有するようになり、8 世紀末には牛田荘が大和国の西大寺領となったほか、可部荘(可部)、三入荘(三入)、田門(たと)荘(口田周辺)などが設けられました。

当時の太田川河口付近であった祇園地区の山本周辺には、内陸部にあった厳島神社の荘園からの物資を運び出すための倉敷地がありました。

中世

承久の乱(1221 年)後、新たに安芸国守護職となった武田氏は、武田山に築いた銀山(かなやま)城(安佐南区)に本拠をおきました。

城下付近には市(いち)が立つなど、にぎわいをみせるようになり、政治の中心も府中から移ってきました。武田氏は、南北朝時代に入ると、足利尊氏の誘いに応じ、毛利・吉川・熊谷氏などを味方にし、矢野城(安芸区)などで、反幕府勢力と激しい抗争を続けました。

その後、武田氏は守護職を追われましたが、15 世紀の初めには、太田川流域を支配する分郡守護として復活しました。

この頃、現在の市街地の辺りには太田川によって運ばれた土砂が堆積し、砂洲や自然堤防ができ、次第にデルタが形成され、漁労を主業とする人々が生活を営むようになりました。やがてこの地域は、広島湾頭における武田氏と山口の大内氏の勢力争いに巻き込まれるなど次第に政治的・経済的に重要性を帯びるようになりました。この地が、文書に初めて出てくるのは、応永 4 年(1397 年)のことで、厳島神社領安摩荘(あまのしょう)(矢野周辺)の付属地として五ケ浦の名が記されています。

天文 10 年(1541 年)武田氏は滅亡し、代わって毛利氏が次第に勢力を伸ばし、弘治元年(1555 年)の厳島合戦で陶(すえ)氏を破ると、急速に勢力を中国地方に拡大しました。毛利氏は豊臣秀吉の全国統一の過程において、その勢力下に入り、中国地方の大半を領有する 112 万石の大名となりました。

この広大な領地経営の中心は、毛利氏の本拠地である吉田の郡山城(安芸高田市)でしたが、軍事・政治・経済等あらゆる面で、海陸交通の要衝の地に本拠を移すことが必要となってきました。

近世

天正 17 年(1589 年)毛利輝元は、当時五ケ(五ケ村)といわれた太田川デルタの上に築城を始め、

城下絵図（安永 7～8 年頃（1778～1779 年頃））

この地を「広島」と命名したと言われています。その後、約 2 か年の歳月を費やして築城工事は完成し、19 年（1591 年）、輝元は家臣を従えて入城するとともに、領内各地から職人や商人を招くなどして、京都・大坂（大阪）に倣い城下町の建設を行いました。

豊臣秀吉の没後、慶長 5 年（1600 年）に起こった関ケ原の戦に敗れた毛利輝元は、防長 2 か国に移され、代わって尾張清洲（愛知県）の福島正則が芸備 49 万 8 千石の領主となりました。福島氏は毛利時代に引き続き城下町の拡張や整備を行うとともに、西国街道（山陽道）を城下に通し、出雲・石見国への雲石街道の整備を図りました。

しかし、福島氏は幕府から広島城の無断修築の罪で改易され、元和 5 年（1619 年）紀州（和歌山県）から浅野長晟（ながあきら）が、安芸一国と備後 8 郡 42 万 6 千石を領して入城しました。

江戸時代には、広島城下の南方の干潟は次々と干拓されていき、文政年間（1820 年頃）には新開の町村数は 35 を数えました。

この頃、町・新開の人口は 4 万 8 千人を超え、これに武家・寺社の推定人口 2 万人を加えると、城下の総人口は 7 万人前後となり、江戸・大坂（大阪）・京都・名古屋・金沢に次ぐ大都市でした。

また、内海航路沿いの最大都市として、本川や元安川沿いは他国船でにぎわいをみせ、中でも中島界隈は街道沿いに大店が並ぶ商業の中心地でした。

城下近郊では沿岸地域で綿が、太田川流域では麻苧（まちょ）・紙・竹細工・野菜、広島湾では海苔・かきなどが生産され、多くが城下に集められた後、上方へ積み出されました。

明治・大正・昭和（戦前）

明治 4 年（1871 年）7 月、新政府による廃藩置県が行われ、翌 5 年（1872 年）4 月、広島城下は広島県第一大区となり、続いて 11 年（1878 年）11 月、郡区町村編制法の実施により、広島区と改められました。

次いで、21 年(1888 年)4 月市制町村制が公布され、翌 22 年(1889 年)4 月 1 日、広島は全国で最初の市の一つとして市制を施行しました。その時の面積は約 27 ㎢、戸数は 2 万 3,824 戸、人口は 8 万 3,387 人でした。

明治 22 年(1889 年)11 月には、千田貞暁県令(県知事)の努力により、17 年(1884 年)9 月以来、5 か年に及んだ宇品港の築港工事が完成し、皆実新開以南、宇品島へ至る浅海は広大な陸地となりました。さらに、27 年(1894 年)6 月には、山陽鉄道が広島まで開通しました。

明治 27 年(1894 年)広島市で開催された臨時帝国議会の仮議事堂

同年 8 月に日清戦争が始まると、広島-宇品間の軍用鉄道(宇品線)が 2 週間余りの突貫工事により開通し、宇品港から多くの兵員・物資が戦地へ送り出されました。 9 月には大本営が広島城内に移され、10 月には臨時帝国議会も開かれました。

以後、明治 37・38 年(1904・1905 年)の日露戦争など相次ぐ戦争により、軍関係の諸施設が次々と設置され、本市は、「軍都」としての性格を強めていきました。一方で 35 年(1902 年)の広島高等師範学校の設置を始めとし、広島高等工業学校、広島高等学校、広島女子専門学校、広島文理科大学などの学校が設置され、文教施設が充実していきました。こうして本市は次第に中国地方における政治・経済・文教・交通の中心都市となっていきました。

軍事施設の設置などにより上水道の敷設など都市基盤の整備も進みました。なかでも城濠の埋立ては、その一部に電車軌道が敷設されるなど街の景観を大きく変貌させました。

大正元年(1912 年)11 月、広島電気軌道株式会社経営の市内電車が、広島駅-紙屋町-相生橋線など 3 路線で開通し、従来の乗合馬車に代わり市内の主要交通機関となりました。

大正 4 年(1915 年)4 月には御幸橋ー宇品線、6 年(1917 年)11 月、左官町ー横川線が開通すると、市内の交通は一段と便利になり、八丁堀・紙屋町付近が、城下町時代からの経済的中枢であった中島本町・堺町付近と比肩することとなりました。10 年(1921 年)、新天地が創設され、活動写真館等を中心に各種の店が集まる新たな繁華街が誕生し、昭和 4 年(1929 年)には広島初の百貨店福屋が八丁堀に開業しました。こうして本市の中心的な盛り場は八丁堀付近に移り変わっていきました。中島と新天地を結ぶ本通も次第に繁華街として成長していきました。

また、明治 37 年(1904 年)9 月仁保島村字宇品島を市域に編入(新町名:元宇品町)、さらに本市が大正 8 年(1919 年)に制定された都市計画法の適用を受けたことから、昭和に入り本市とともに都市計画区域となった隣接町村に合併を働きかけ、昭和 4 年(1929 年)4 月、隣接 7 か町村(仁保村・矢賀村・牛田村・三篠町・己斐町・古田村・草

被爆前の相生橋と広島県産業奨励館
(現原爆ドーム)

津町)との合併が実現しました。これにより、人口は 27 万人を超え、全国で 7 番目に人口の多い市となりました。

近世以来、新開開発により河口に向けて発達してきたデルタ地帯の宿命として、本市は長く洪水、高潮による被害に悩まされました。昭和 7 年(1932 年)には太田川改修工事が着手され、また、宇品港は広島港と名を改め、翌 8 年(1933 年)には修築が始まり、15 年(1940 年)からは工業港建設と埋立地を臨海工業地帯とする事業が始まりました。

昭和（戦後）・平成・令和

昭和 20 年(1945 年)8 月 6 日、人類史上最初の原子爆弾が市中心部上空約 600m で炸裂しました。広島の街は一瞬にして焦土と化し、多くの人々の生命が奪われ、全ての都市機能は壊滅的な被害を受けました。同年末までの死者は約 14 万人(誤差±1 万人)と推計され、生き残った人々は様々な形での後障害に苦しめられ、その影響は今なお続いています。

瞬時に壊滅し、廃墟の街となった本市の復興は、鉄道・電車などの輸送機関や通信・電力などの復旧から始まりました。市民も食糧や物資の欠乏に苦しめられながらも生活の再興を進めていきました。
一方、市は、昭和 21 年(1946 年)秋には、復興都市計画を決定しましたが、資金難などによりなかなか進みませんでした。こうした状況を打開したのが、24 年(1949 年)8 月 6 日に公布された「広島平和記念都市建設法」でした。これにより、道路・橋梁・住宅などの整備が本格的に進むこととなり、高度経済成長前夜の市域拡張期を迎えました。

被爆から 2 年後の昭和 22 年(1947 年)8 月 6 日には平和祭が行われました。朝鮮戦争がぼっ発した 25 年(1950 年)の 4 回目の平和祭は、開催の直前に治安を理由に中止されましたが、翌 26 年(1951 年)からは「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」となり、現在に引継がれています。30 年(1955 年)には、平和記念公園内に広島平和記念資料館が開館し、原水爆禁止世界大会も開催され、名実ともに平和記念都市として、実質的な一歩を踏み出しました。被爆の惨状を残す原爆ドームは、戦後しばらくその存廃が論議されていましたが、35 年(1960 年)から盛んになった市民による保存運動を契機に、41 年(1966 年)保存が決定されました。

完成を待つ広島平和記念資料館(昭和 29 年(1954 年))

戦後、市町村が所管する事務の増大に伴い、その能率的処理のためには自治体規模の合理化が必要となり、昭和 28 年(1953 年)町村合併促進法、31 年(1956 年)新市町村建設促進法により、町村合併は全国的機運になりました。広島市では 30 年(1955 年)4 月安芸郡戸坂村、31 年(1956 年)4 月安芸郡中山村、同年 11 月佐伯郡井口村と合併を行い、翌 32 年(1957 年)人口は 40 万人を超えました。こうした中、市は 33 年(1958 年)に「大広島」構想を発表し、本市を中核に広域都市圏を建設しようという構想を相次いで打ち出しました。

市内中心部の戦災復興は、新たな公園や河岸緑地、平和大通り等広幅員の街路の整備を行う復興計画により大規模な区画整理が必要となり、昭和 47 年(1972 年)の完成までに 30 年弱の期間を要しました。この間、都市流入人口の増加と区画整理事業等の影響から、河岸地帯はバラック建ての不法建築により占拠され、特に基町地区は大規模な不法建築群、いわゆる「原爆スラム」を抱えることになりました。53 年(1978 年)、これらを撤去し高層住宅や公園を整備する基町地区再開発事業が完了し、戦災復興に一つの区切りを迎えました。一方、原爆被災の影響が少なかった段原地区については、狭あいな細街路等が大きな課題として残されていましたが、平成 26 年(2014 年)、43 年かけた再開発事業が完了しました。

戦時中、一時中断していた太田川改修工事は昭和 26 年(1951 年)に再開し、40 年(1965 年)の新放水路への通水開始により完了しました。これにより長く悩まされ続けてきた太田川流域の水害が激減しました。

高度成長期に入ると、昭和 36 年(1961 年)に広島空港(現広島ヘリポート)が開港、39 年(1964 年)の山陽本線全線電化開通、40 年(1965 年)の広島民衆駅完成、41 年(1966 年)の国道 2 号新広島バイパス開通等交通基盤の整備が進み市勢が一段と伸長、広島都市圏が形成されました。

その結果、市域を越えて広がった日常生活圏内の諸問題を一体的に処理するため、周辺町村との合併機運がさらに高まりました。昭和 43 年(1968 年)1 月、周辺 19 町村による広島地区広域行政懇談会が設置され、45 年(1970 年)3 月、魅力ある広域生活圏の形成を掲げる広島市基本構想策定により、周辺町村との合併は一挙に進みました。46 年(1971 年)4 月の安佐郡沼田町との合併をはじめとして、同年 5 月安佐郡安佐町、47 年(1972 年)4 月安佐郡可部町、同年 8 月安佐郡祇園町、48 年(1973 年)3 月安佐郡安古市町、佐東町、高陽町、安芸郡瀬野川町、同年 10 月高田郡白木町、49 年(1974 年)11 月安芸郡熊野跡村、安芸町、50 年(1975 年)3 月安芸郡矢野町、船越町の計 13 か町村が本市と合併しました。

そして、昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日には、全国で 10 番目の政令指定都市となりました。これにより、県の所掌する事務や権限が市に移譲され、行政運営の円滑化、新たな財源の確保による各種都市施設の整備の促進等の市民サービスの向上、 行政区制の導入による市民と行政の結びつきの強化が図られました。60 年(1985 年)3 月、佐伯郡五日市町と合併、人口は 100 万人を超えました。平成 17 年(2005 年)4 月には佐伯郡湯来町と合併し、現在人口 119 万人を超える都市となっています。

政令指定都市移行後、広域生活圏の住民に供するスポーツセンター、図書館、文化センターが各区に順次整備され、さらに郷土資料館、現代美術館、アステールプラザ、陸上競技場(ビッグアーチ)、国際会議場などの中四国地方の中心都市としての広域的な文化・スポーツ施設が充実していきました。なかでも、国際大会に使用できるスポーツ施設を持つ広域公園では、ここを中心に、平成 6 年(1994 年)、地方都市としては初めてアジア競技大会が開催されました。同年 4 月には対面する丘陵地に広島市立大学が開学し、周辺地域の開発も加速しました。

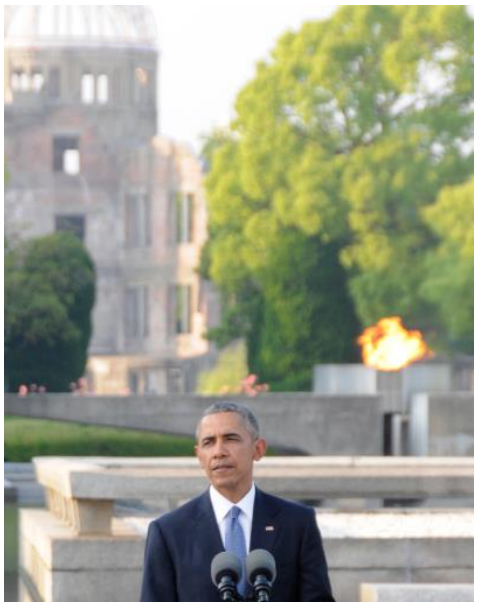
アジア競技大会開会式(平成 6 年(1994 年))

昭和 57 年(1982 年)には、大規模な卸売団地と住宅団地の造成を同時に行う西部開発事業が竣工、アジア競技大会前後には、西風新都の開発、平成 13 年(2001 年)の紙屋町地下街「シャレオ」開業等、新たな市街地の開発が進められました。

昭和 50 年(1975 年)の山陽新幹線の全線開通、54 年(1979 年)の広島空港(現広島ヘリポート)へのジェット機乗り入れ開始などの社会資本の整備とともに本市の経済も順調に成長しました。平成 6 年(1994 年)には市北部からの慢性的な交通渋滞を解消するため、祇園新道とともに新交通システム(アストラムライン)が開通し、27 年(2015 年)にはJR山陽本線との交差部に新白島駅が開業し、より一層公共交通網の強化が図られました。また、13 年(2001 年)には広島高速 4 号線(広島西風新都線)が開通、その後 1 号線、2 号線、3 号線が開通し、本格的な都市高速道路時代を迎えています。

都心の東の核である広島駅周辺地区では、昭和56年(1981年)広島駅南口Aブロック第一種市街地再開発事業の計画を作成し、平成 11 年(1999 年)に事業が完了しました。駅周辺の整備は、21 年(2009 年)3 月の広島市民球場(マツダスタジアム)の完成を契機に一挙に加速し、29 年(2017 年)に隣接するBブロック、Cブロックの再開発が完了して新たなにぎわいを見せています。さらに、路面電車の駅前大橋ルートの新設を含む広島駅南口広場の再整備等も進めています。また、都心の西の核である紙屋町・八丁堀地区では、30 年(2018 年)の都市再生緊急整備地域の指定を受け民間によるビルの建て替えや再開発などを促進するとともに、広島の新たなシンボルとなるサッカースタジアムの建設なども進めています。

新しい市民球場(マツダスタジアム)が完成
(平成 21 年(2009 年))

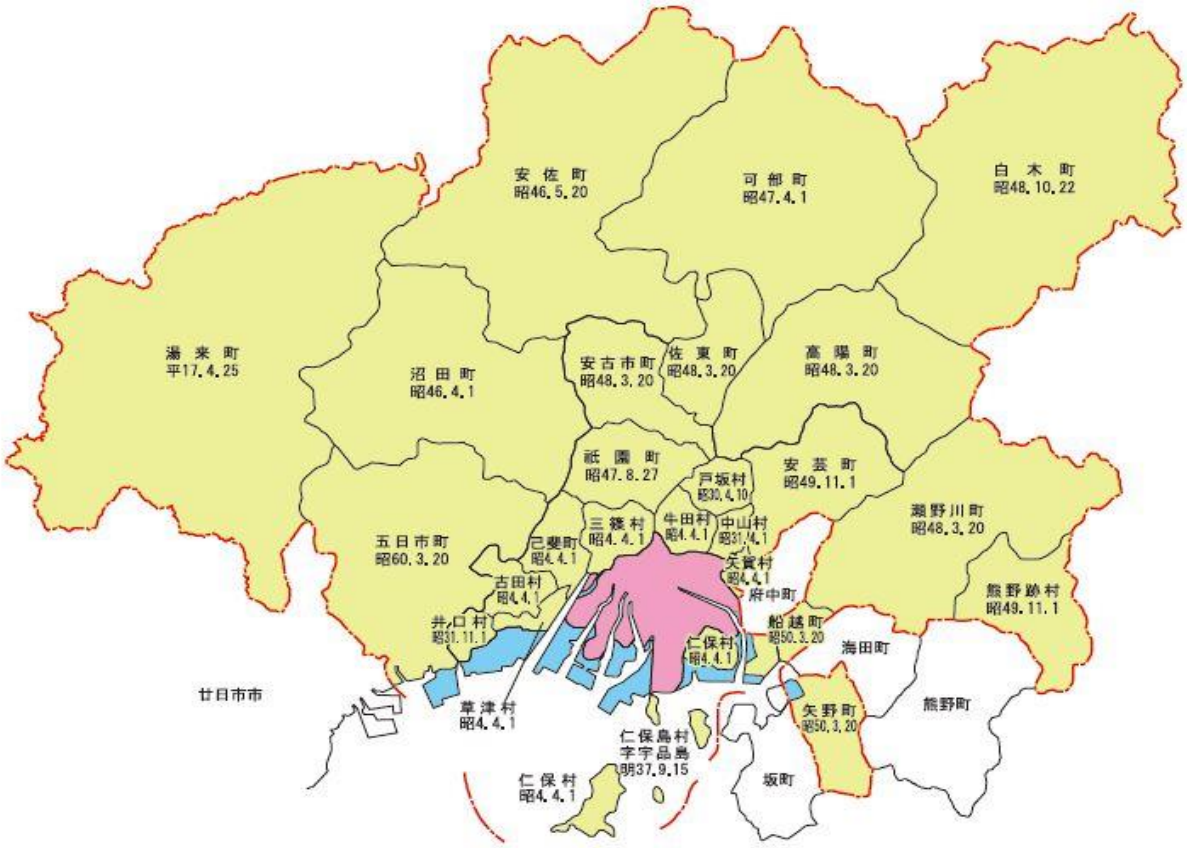


オバマ米国大統領の広島訪問
(平成 28 年(2016 年))

市街が整備され被爆建造物が取り壊されていくなかで、被爆の証人として残された原爆ドームは、平成 8 年(1996 年)には世界遺産へ登録されました。14 年(2002 年)には、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が設置され、広島平和記念資料館とともに被爆者の遺品や体験記などにより、原爆の悲惨さと平和の尊さを発信しています。

核兵器廃絶と世界平和の実現を訴え続けるヒロシマは国内外から高い関心を寄せられており、世界各国の要人が訪れています。最近では、平成 28 年(2016 年)5 月のオバマ米国大統領(当時)、令和元年(2019 年)のローマ教皇の広島訪問が世界の注目を集めました。なかでもオバマ大統領の広島訪問は、米国の現職大統領としては初めてのことであり、核兵器廃絶に向けた歴史的な一歩となりました。

● 市域の変遷



注：図中の日付は、広島市との合併年月日です。

凡　例	
	明治22年（1889年）4月1日市制施行時の市域
	合併により拡大した市域
	埋立により拡大した市域
	現在の市域界

● 面積

（単位：㎢）

年　次	全　市	中　区	東　区	南　区	西　区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
昭和55年（1980年）	675.62	14.74	39.77	23.92	34.49	117.24	352.11	93.35	—
昭和60年（1985年）	736.91	14.74	39.77	24.25	35.03	117.24	352.11	93.92	59.85
平成17年（2005年）	905.01	15.34	39.38	26.09	35.67	117.19	353.35	94.01	223.98
令和2年（2020年）	906.69	15.32	39.42	26.46	35.61	117.03	353.33	94.08	225.43

注：各数値は、当時の市域によります。

（各年 10 月 1 日現在）

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

主要年表

年号	西暦	できごと
縄文時代終り		比治山貝塚ができる
弥生時代		中山貝塚ができる
宝亀11年	780	牛田荘が大和国西大寺の荘園であった記録あり
応安 4年	1371	今川貞世が九州探題赴任の途中、干潮時、太田川の砂州を徒渉(としょう)(9月)
応永 4年	1397	五ヶ浦の地名が文書にあらわれる(厳島神社文書)
天文10年	1541	安芸国の守護武田氏、大内氏に攻められ滅亡(5月)
弘治元年	1555	厳島合戦で毛利元就が陶氏を破る(10月)
天正17年	1589	毛利輝元が五ヶ(五ヶ村)で築城に着手、この地を「広島」と命名(4月)
19年	1591	広島城が完成し輝元入城(1月)
慶長 5年	1600	関ヶ原の戦いにより輝元は防長2か国に移される(10月)
6年	1601	福島正則広島城に入城(3月)
元和 5年	1619	城の無断修築の罪で正則は改易となり(6月)、信濃国川中島に転封(7月)
		和歌山から浅野長晟入城(8月)
承応 2年	1653	大暴風雨と洪水で死者多数(8月)
寛文元年	1661	段原村・比治山村・山崎新開・大黒新開・吉島新開の地詰めを行う(6月)
宝暦 8年	1758	白神五丁目から出火し、元安川以東の城下町の大部分が焼失(4月)
天明 3年	1783	この年の気候不順による凶作のため飢民多し
文政 8年	1825	広島藩の地誌「芸藩通志」完成(8月)、広島城下については「知新集」が文政5年に完成
元治元年	1864	二度にわたり長州役、広島に幕府軍集結
慶応 2年	1866	
明 治		
2年	1869	版籍奉還、旧藩主浅野長勲が藩知事に任ぜられる(6月)
5年	1872	前年の廃藩置県に続き、広島は第一大区となる(4月)
6年	1873	広島に鎮台を置き、第五軍管広島鎮台と称する(11月)
11年	1878	郡区町村編制法により、広島区となる(11月)
22年	1889	市制施行(4月)、人口8万387人
		市役所(中島新町)開庁(9月)
		宇品築港工事完了(11月)
27年	1894	糸崎・広島間の山陽鉄道開通(6月)
		大本営を広島に設置(9月～翌年4月)、臨時帝国議会が広島で開会
		市内に電灯ともる(10月)
32年	1899	広島市上水道が陸軍諸部隊及び市内一般に給水開始(1月)
33年	1900	広島郵便電信局内に電話交換局が設置(9月)、翌年2月交換開始
35年	1902	広島高等師範学校設置(4月)
37年	1904	安芸郡仁保島村字宇品島を広島市に編入(9月)
38年	1905	横川・可部間に乗合自動車開業(2月)
42年	1909	広島瓦斯株式会社創立(10月)、翌年10月供給開始
大 正		
元年	1912	市内に電車軌道を敷設し、電車の運転を開始(11月)
4年	1915	芸備鉄道広島・三次間開通(6月)
7年	1918	全国的な米騒動が広島市にも波及し軍隊出動鎮圧(8月)
10年	1921	第4回全国菓子飴大品評会開催(4月)
昭 和		
3年	1928	日本放送協会中国支部広島放送局開局(7月)
4年	1929	昭和産業博覧会開催(3～5月)
		安芸郡牛田村等隣接7か町村を広島市に合併(4月)
		広島文理科大学創立(4月)
7年	1932	宇品港を広島港と改称(12月)

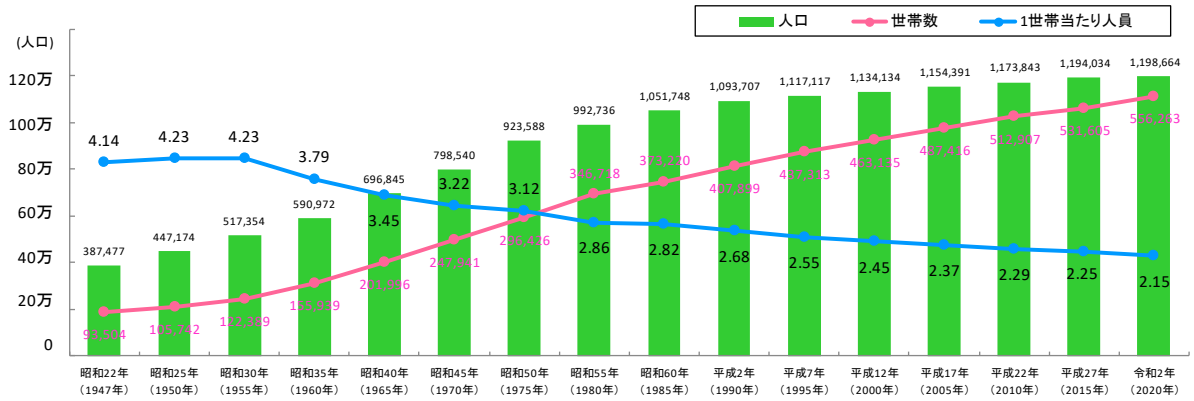
年号	西暦	できごと
昭和20年	1945	8月6日午前8時15分原子爆弾により広島市は壊滅
22年	1947	第1回平和祭開催(8月)
24年	1949	広島大学設置(5月)
		「広島平和記念都市建設法」が公布(8月)
25年	1950	広島こども博覧会開催(10月～11月)
26年	1951	第6回国民体育大会開催(10月)
27年	1952	広島平和都市記念碑(原爆死没者慰霊碑)除幕(8月)
30年	1955	安芸郡戸坂村を広島市に合併(4月)
		広島平和記念資料館が開館(8月)
31年	1956	安芸郡中山村(4月)、佐伯郡井口村(11月)を広島市に合併
31年	1956	広島原子力平和利用博覧会開催(5～6月)
32年	1957	旧広島市民球場完成、広島バスセンター開業(7月)
33年	1958	広島復興大博覧会開催(4～5月)
34年	1959	米国・ハワイ州ホノルル市と姉妹都市提携に調印(6月)
36年	1961	広島空港開港(9月)
39年	1964	人口50万人に達する(4月)
		広島・小郡間電化完成に伴い国鉄山陽本線全線電化(10月)
40年	1965	太田川放水路通水(5月)
		広島民衆駅完成(12月)
41年	1966	新広島国道開通(12月)
42年	1967	原爆ドーム保存工事が完了(8月)
43年	1968	「被爆者特別措置法」が公布(5月)
46年	1971	安佐郡沼田町(4月)、同郡安佐町(5月)を広島市に合併
47年	1972	安佐郡可部町(4月)、同郡祇園町(8月)を広島市に合併
		ソ連・ボルゴグラード市と姉妹都市提携に調印(9月)
48年	1973	安佐郡安古市町・佐東町・高陽町・安芸郡瀬野川町(3月)、高田郡白木町(10月)を広島市に合併
49年	1974	市立中央図書館開館(10月)
		安芸郡熊野跡村・安芸町を広島市に合併(11月)
50年	1975	安芸郡矢野町・船越町を広島市に合併(3月)
		山陽新幹線岡山・博多間が開通(3月)
		長崎市と平和文化都市提携に調印(8月)
		広島東洋カープがセントラルリーグ初優勝(10月)
52年	1977	第1回ひろしまフラワーフェスティバルを開催(5月)
53年	1978	国連軍縮特別会議に市長が列席、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催(5月)
		「国連軍縮週間」で原爆被害写真展等を実施(10月)
55年	1980	政令指定都市広島誕生、7区役所開所(4月)
56年	1981	ローマ法王来広、平和記念公園から全世界へ向けて平和アピールを発表(2月)
		広島市の人口90万人を超える(8月)
57年	1982	西部開発事業竣工(3月)
		市長、国連軍縮特別総会で核兵器の廃絶を訴える(6月)
58年	1983	西独・ハノーバー市と姉妹都市提携に調印(5月)
60年	1985	佐伯郡五日市町を広島市に合併、人口100万人を超える(3月)
		85ワールドカップマラソン広島大会を開催(4月)
		第1回世界平和連帯都市市長会議を開催(8月)
		第1回国際アニメーションフェスティバル広島大会を開催(8月)
61年	1986	中国・重慶市と友好都市提携に調印(10月)
		国際駅伝広島大会を開催(11月)

年号	西暦	できごと
昭和62年	1987	ジャーナリスト国際平和シンポジウムを開催(8月)
63年	1988	祇園新道が開通(暫定)(3月)
平　成		
元年	1989	現代美術館が開館(5月)
		広島国際会議場が開館(7月)
		89海と島の博覧会・ひろしまを開催(7月～10月)
		第2回世界平和連帯都市市長会議を開催(8月)
3年	1991	新交通システムで橋げた落下事故が発生(3月)
		世界平和連帯都市市長会議が国連憲章に基づくNGO(非政府組織)として認定される(5月)
		広島ビッグウェーブ(総合屋内プール)が開館(8月)
		台風19号が大きな被害をもたらす(9月)
4年	1992	国連軍縮広島会議を開催(6月)
		広島ビッグアーチ(広島広域公園陸上競技場)が完成(10月)
		第10回アジアカップサッカー選手権決勝大会を開催(10月)
5年	1993	比治山トンネル開通(1月)
		広島空港(三原市)、広島西飛行場が開港(10月)
6年	1994	広島市立大学開学(4月)
		アストラムライン開業(8月)
		第12回アジア競技大会を開催(10月)
7年	1995	原爆ドームが文化財保護法の史跡に指定される(6月)
		市長、オランダ・ハーグの国際司法裁判所で核兵器の違法性について口頭陳述(11月)
8年	1996	第1回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろしま男子駅伝)開催(1月)
		第1回フードフェスタ広島開催(2月)
		ひろしま国体開催(9～10月)
		個人情報保護条例施行(10月)
		原爆ドームの世界遺産一覧表への登録が決定(12月)
9年	1997	韓国・大邱広域市と姉妹都市提携に調印(5月)
10年	1998	カナダ・モントリオール市と姉妹都市提携に調印(5月)
11年	1999	広島駅南口Aブロック再開発ビル「エールエールA館」オープン(4月)
		集中豪雨により大きな被害が発生(6月)
12年	2000	広島高速3号線(広島南道路)一部開通(3月)
		都市計画道路・鷹野橋宇品線開通(3月)
		第15回国民文化祭・ひろしま2000開催(11月)
13年	2001	芸予地震発生(3月)
		紙屋町地下街「シャレオ」開業(4月)
		広島西風新都インターチェンジ開通(7月)
		第5回世界平和連帯都市市長会議開催(8月)
		広島はつかいち大橋開通(8月)
		金座街地区第6街区市街地再開発ビル「パルコ新館」オープン(10月)
		広島高速4号線(広島西風新都線)開通(10月)
		2001ねんりんピック広島開催(10月)
14年	2002	暴走族追放条例施行(4月)
		国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が開館(8月)
		スポレク広島2002開催(10月)
		広島国際フェリーポート完成(10月)
		ライトアップ「ひろしまドリミネーション」開催(12月)
15年	2003	中高一貫教育校市立安佐北中学校が開校(4月)
		太田川花火大会を統合し、広島みなと夢花火大会を開催(7月)

年号	西暦	できごと
平成15年	2003	国道2号西広島バイパス観音高架橋が開通（10月）
16年	2004	ぽい捨て等の防止に関する条例の罰則がスタート（1月）
		第1回日米都市サミット広島2004開催（11月）
17年	2005	佐伯郡湯来町を広島市に合併（4月）
		広島城秋まつりとフードフェスタ広島を統合し、ひろしまフードフェスティバルを開催（10月）
18年	2006	広島平和記念資料館の本館と世界平和記念聖堂が国の重要文化財指定（7月）
		広島高速1号線（安芸府中道路）全線開通（10月）
		「ひろしま型義務教育創造特区」を国が認定（11月）
19年	2007	平和記念公園が国の名勝指定（2月）
		広島の歴史や文化、自然などに関する知識を問う「ひろしま通認定試験」開始（2月）
		全米101都市で開催する「原爆展」開始（9月）
20年	2008	交通系ICカード「PASPY（パスピー）」導入（1月）
		「ザ・広島ブランド」を創設し20品認定（3月）
		主要8か国の下院議会及び欧州議会の長が一堂に集うG8下院議長会議開催（9月）
21年	2009	マツダスタジアム竣工式（3月）
		広島・長崎両市長がNPT再検討会議準備委員会等に出席し、スピーチ（5月）
		新しい基本構想と第5次基本計画を策定（10月）
		「LRT都市サミット広島2009」を開催（10月）
		インターネット関連では世界最大級の国際会議「第76回IETF広島会議」開催（11月）
22年	2010	「2010年日本APEC（アジア太平洋経済協力会議）」の広島高級実務者会合を開催（2月）
		「インターアクション・カウンシル年次総会（OBサミット）」を開催（4月）
		広島高速2号線（全線）と3号線（宇品～吉島）が開通（4月）
		「2020核廃絶広島会議」を開催（7月）
		被爆65年目の平和記念式典に潘基文国連事務総長が列席（8月）
		JR広島駅新幹線口の若草町地区市街地再開発事業において再開発ビルが完成（8月）
		「ノーベル平和賞受賞者世界サミット」開催（11月）
23年	2011	平和市長会議の加盟都市が5,000都市を突破（9月）
24年	2012	平和市長会議国内加盟都市会議を初開催（1月）
		被爆体験伝承者の養成事業スタート（7月）
		広島ヘリポートが供用開始（11月）
25年	2013	第26回全国菓子大博覧会・広島（ひろしま菓子博2013）を開催（4月～5月）
26年	2014	NPDI広島外相会合を開催（4月）
		土砂災害により甚大な被害が発生（8月）
27年	2015	新白島駅の開業（3月）
		国連軍縮会議を開催（8月）
28年	2016	本市と広島広域都市圏内の23市町との間で連携協約を締結（3月）
		G7外相会合を開催（4月）
		オバマ米国大統領が現職大統領として初めて広島を訪問（5月）
		広島駅南口Bブロック市街地再開発ビル「BIG FRONT ひろしま」が完成（8月）
		広島駅南口Cブロック市街地再開発ビル「EKICITY HIROSHIMA」が完成（12月）
29年	2017	一部区間が廃止されたJR可部線が、可部ーあき亀山間で電化延伸されて開業（3月）
		広島駅自由通路の全面利用を開始（10月）
		賢人会議・国連軍縮会議を開催（11月）
30年	2018	都市型スポーツの国際大会「FISE（フィセ）」が広島で日本初開催（4月）
		豪雨災害により甚大な被害が発生（7月）
令　和		
元年	2019	浅野氏広島城入城400年記念イベントを開催（9月）
		ローマ教皇来広、平和記念公園から核兵器廃絶と平和への思いを込めたメッセージを発信（11月）

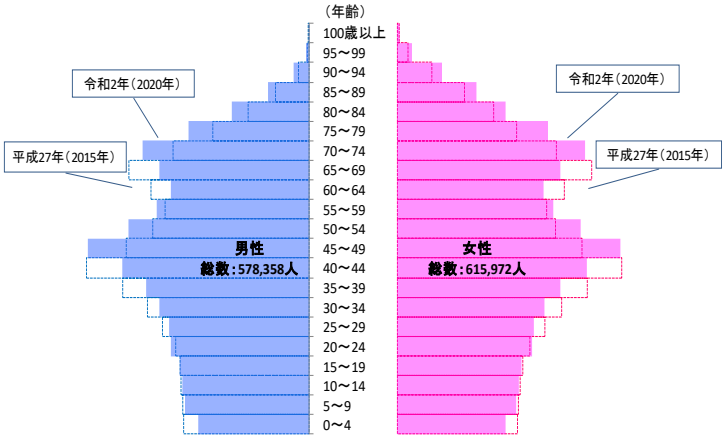
統計で見る広島市 －人口－

人口・世帯数の推移



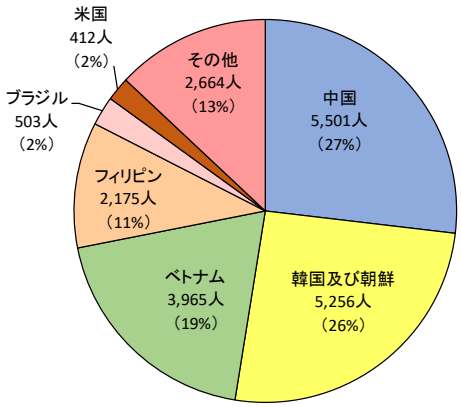
注：広島市の数値は、現在の市域に組み替えたものです。
資料：国勢調査，令和 2 年は 10 月 1 日現在推計人口

人口ピラミッド



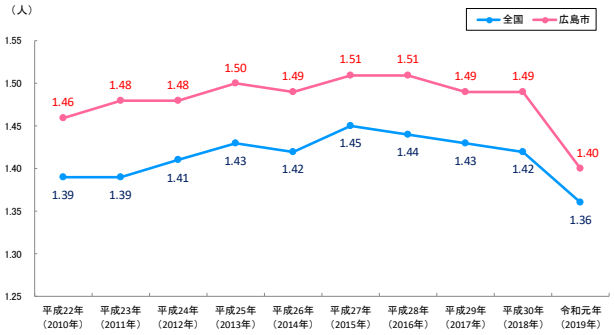
資料：住民基本台帳（各年 3 月末現在）

国籍別外国人人口



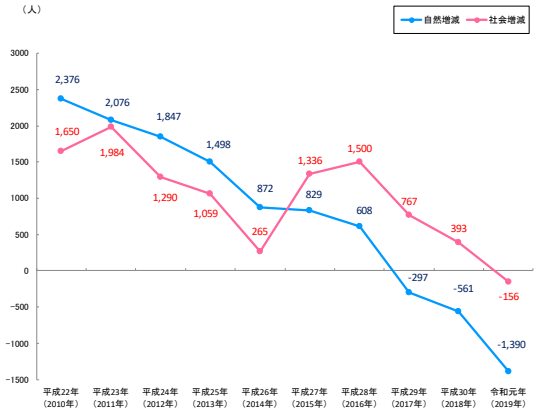
資料：住民基本台帳（令和 2 年 3 月末現在）

合計特殊出生率の推移



注：合計特殊出生率とは、15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものです。
資料：人口動態統計，広島市企画総務局

人口動態の推移



注1：自然増減=出生数-死亡数、社会増減=転入数-転出数（市内の区間異動を含みません）
注2：転入には職権記載等を含み、転出には職権削除等を含みます。
注3：外国人を除きます。
資料：人口動態統計（自然増減），住民基本台帳（社会増減）

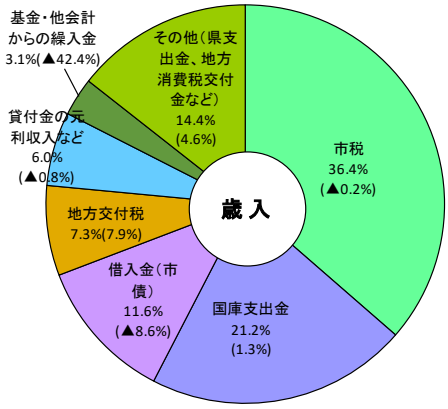
統計で見る広島市 -財政状況-

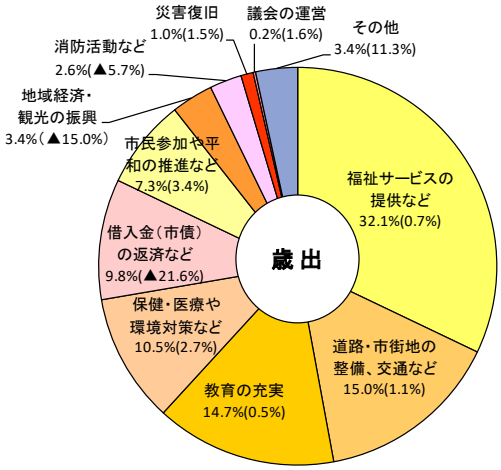
令和2年度(2020年度)当初予算規模

区分	予算額	対前年度増減率
一般会計	6,563億7,261万3千円	▲2.0%
特別会計	4,240億8,652万3千円	▲0.1%
企業会計	1,484億990万5千円	0.1%
全会計	1兆2,288億6,904万1千円	▲1.1%

資料:広島市財政局

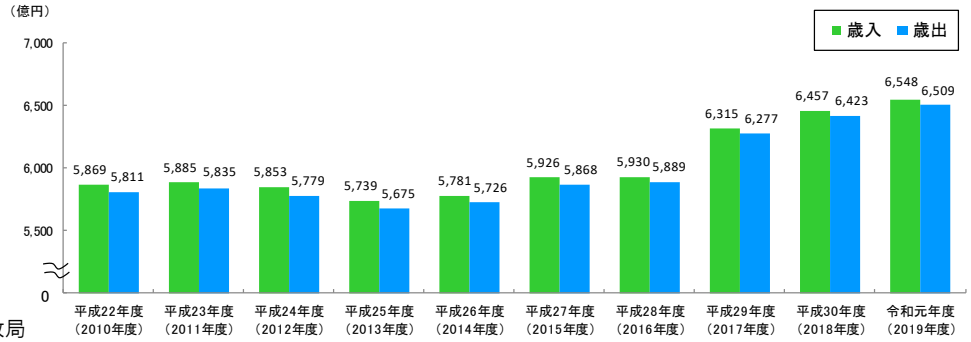
令和2年度(2020年度)当初予算一般会計の内訳





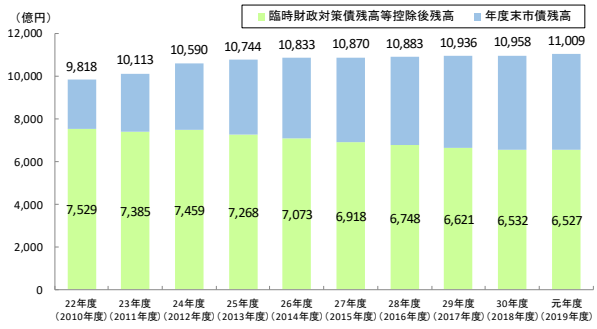
注:( )内は対前年度増減率を示します。
資料:広島市財政局

一般会計歳入・歳出決算額の推移



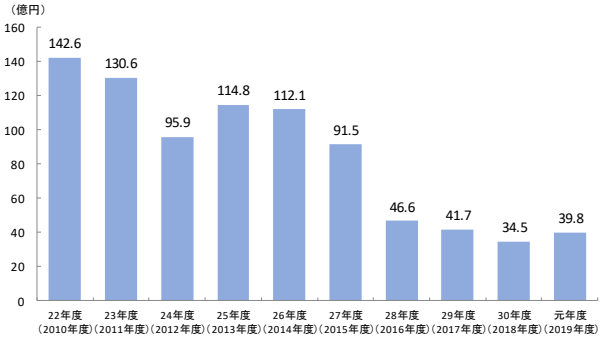
資料:広島市財政局

市債(借金)残高の決算の推移



注:臨時財政対策債残高等控除後残高とは、市債残高の総額から、臨時財政対策債残高と、将来の返済に備えて減債基金に積み立てている額を除いた額のことです。
資料:広島市財政局

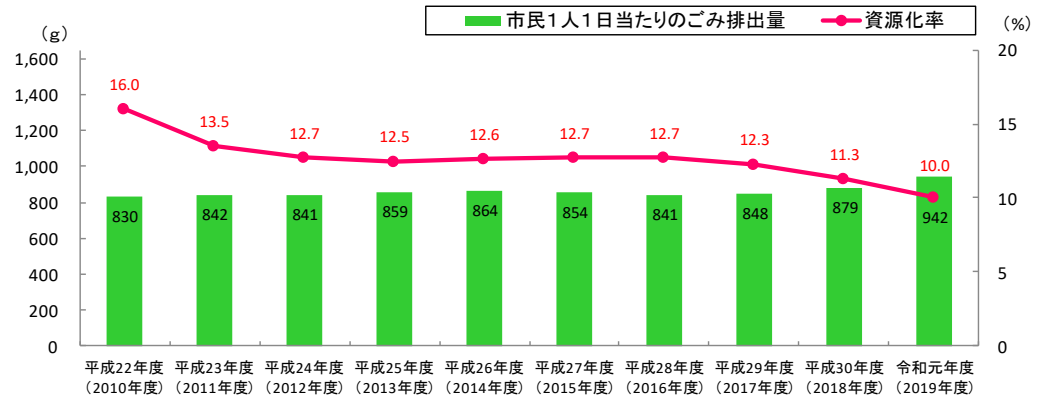
財政調整基金(貯金)残高の決算の推移



資料:広島市財政局

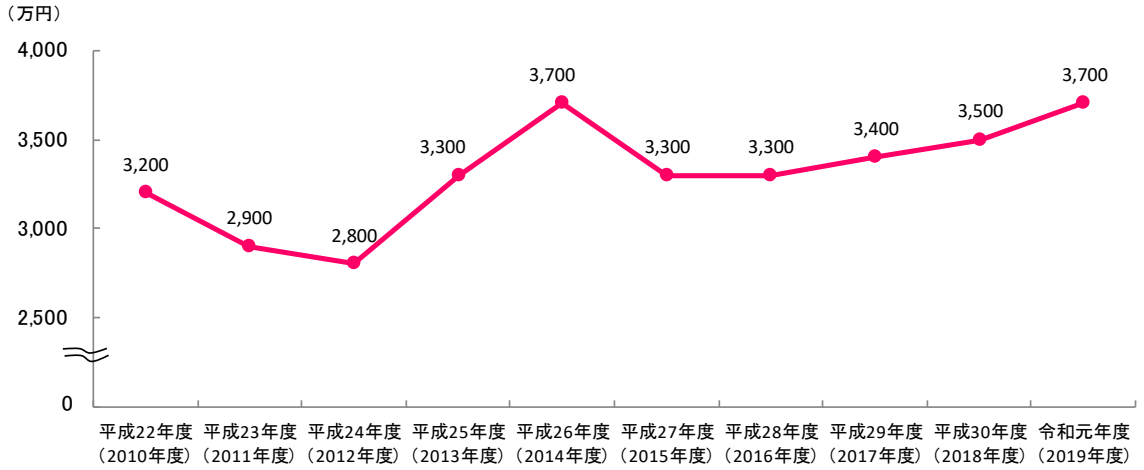
統計で見る広島市 －ごみ・環境問題－

市民一人当たりのごみ排出量と資源化率の推移



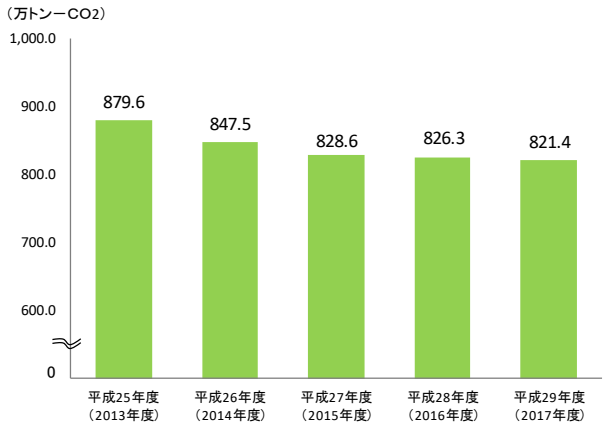
注1：市民一人当たりのごみ排出量とは、総排出量を 9 月末現在人口（日本人＋外国人）で除した数値です。
注2：平成 26 年度、平成 27 年度、平成 28 年度、平成 30 年度及び令和元年度には災害廃棄物（平成 26 年 8 月 20 日豪雨災害、平成 30 年 7 月豪雨災害）を含みます。
資料：広島市環境局

一日当たりのごみ処理経費の推移



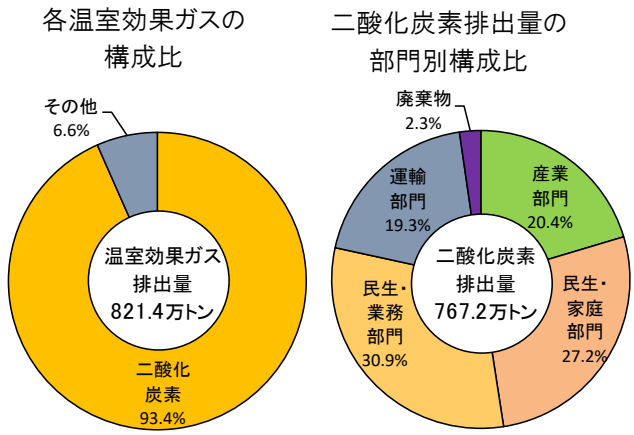
資料：広島市環境局

温室効果ガス総排出量の推移



資料：広島市環境局

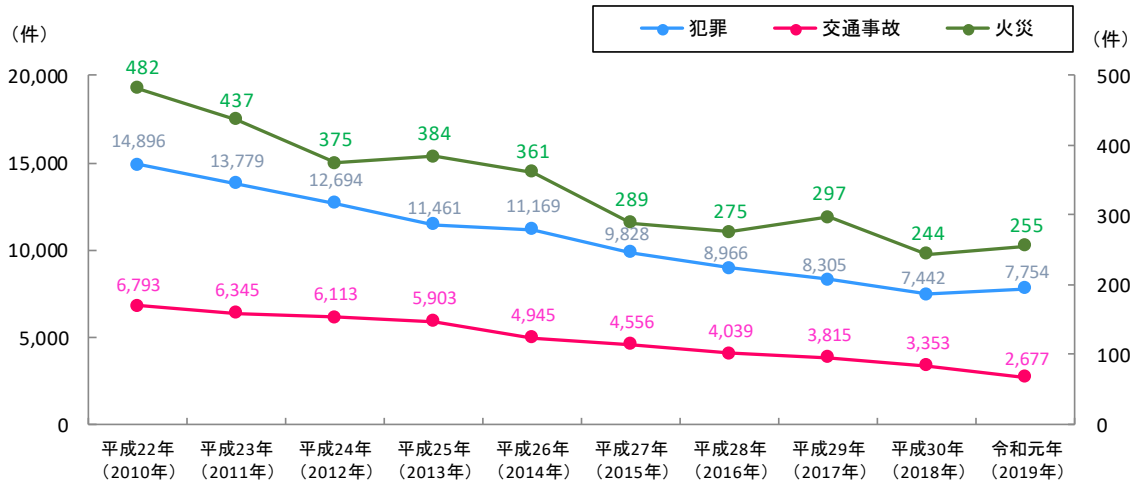
温室効果ガス排出量の構成（平成29年度）



注:その他は、メタン、一酸化二窒素及び代替フロン等4ガスです。
資料：広島市環境局

統計で見る広島市 －安全・安心－

犯罪・交通事故・火災発生件数の推移



資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局

犯罪・交通事故・火災発生件数の内訳（令和元年）

犯罪認知件数の内訳						
総数	凶悪犯（殺人・強盗など）	粗暴犯（暴行・傷害など）	窃盗犯（自転車・万引きなど）	知能犯（詐欺・横領など）	風俗犯（賭博、わいせつなど）	その他
7,754	55	628	5,143	453	105	1,370

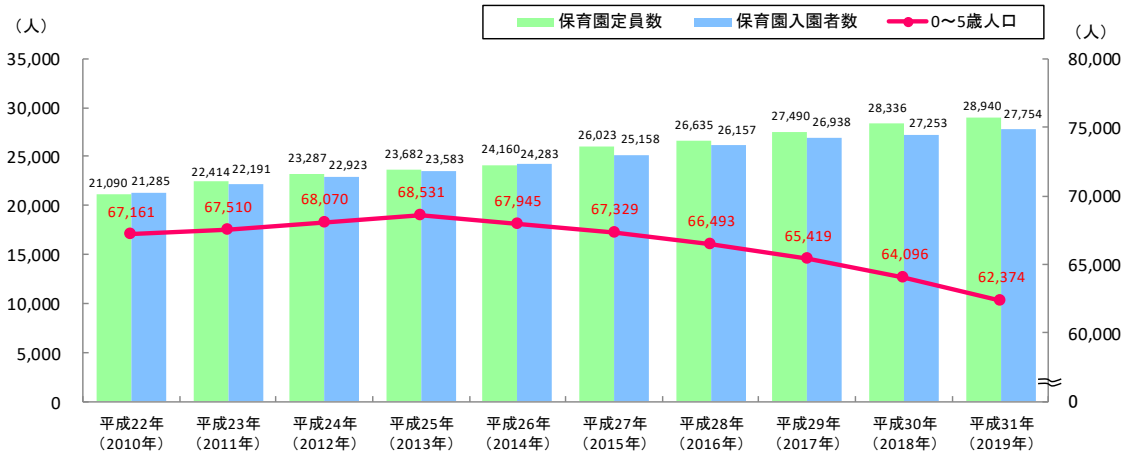
交通事故発生件数の原因別内訳							
総数	安全運転義務違反	交差点安全進行義務違反	歩行者等妨害（※1）	信号無視（※2）	一時不停止	優先通行妨害	その他
2,677	1,276	260	158	114	133	236	500

火災発生件数の原因別内訳							
総数	たばこ	放火・放火の疑い	こんろ	たき火	電灯・電話等の配線	ストーブ	その他
255	41	29	27	20	15	9	114

※1：横断自転車妨害を含みます。
※2：歩行者の信号無視を含みます。

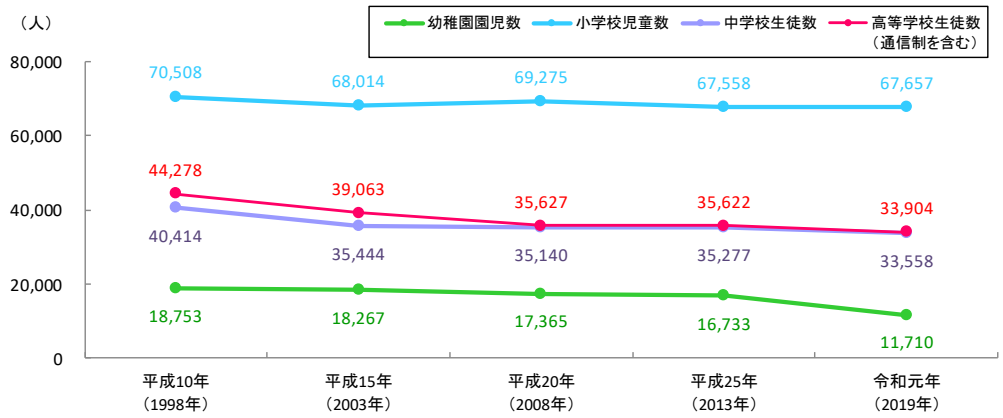
資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局

保育園入園状況の推移



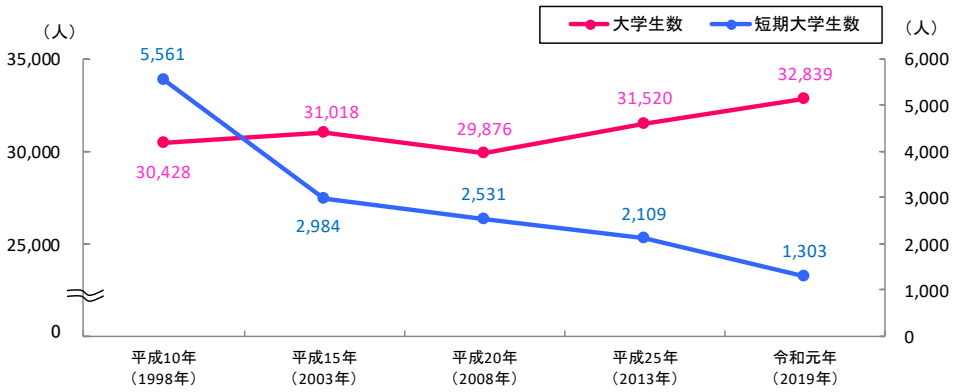
注：保育園定員数・入園者数は各年５月１日現在の数値、0～5 歳人口は各年４月末日の数値です。
資料：広島市こども未来局

園児数・児童数・生徒数の推移



注：各年５月１日現在の数値です。
資料：広島市教育委員会事務局

短期大学・大学生数の推移



注1：大学生数は、大学院生数を含みます。
注2：各年５月１日現在の数値です。
資料：広島市教育委員会事務局

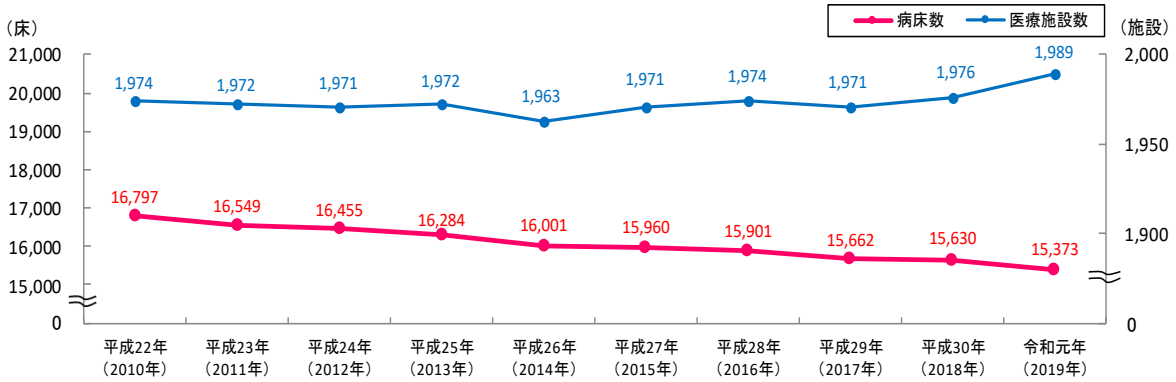
各学校数（令和元年５月１日現在）

幼稚園数	小学校数	中学校数	高等学校数	短期大学数	大学数
88	147	76	45	4	15

資料：広島市教育委員会事務局

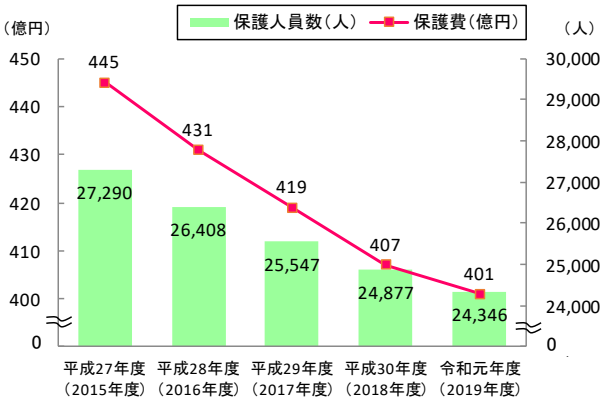
統計で見る広島市 －健康・福祉－

病床数・医療施設数の推移



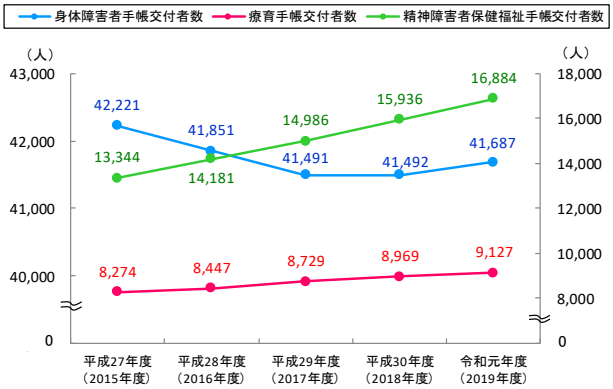
注　：病床数と医療施設数は、病院と一般診療所・歯科診療所を合わせた数値です。
資料：医療施設調査

生活保護人員・保護費の推移



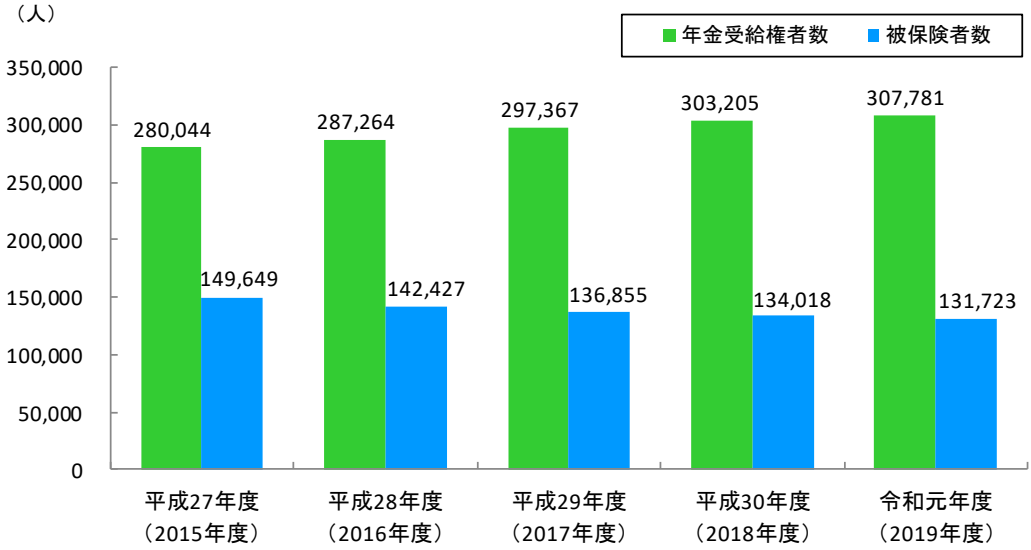
注：保護人員数は年度間の月平均数です。なお、保護停止中のものを含みます。
資料：広島市健康福祉局

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付者数



注：各年度末の数値です。
資料：広島市健康福祉局

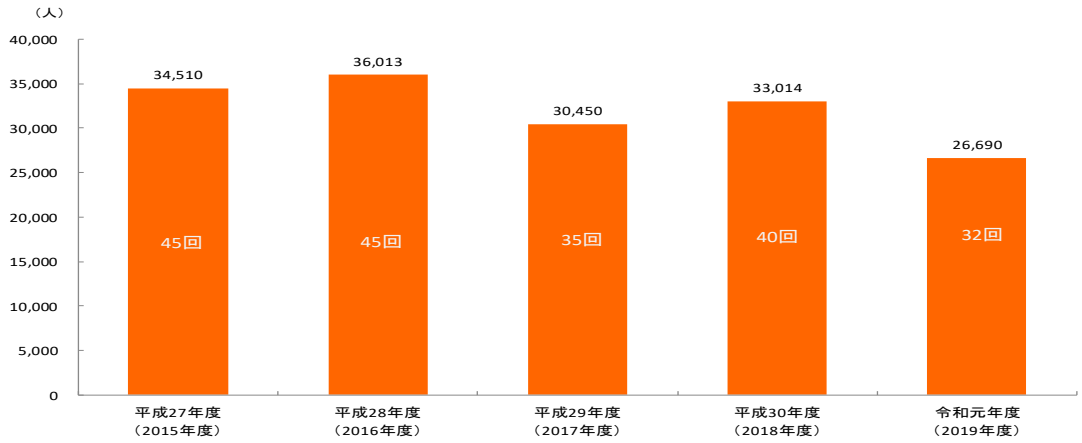
国民年金受給権者数・被保険者数



注1：年金受給権者数は、拠出制及び無拠出制の各年金受給権者数の合計です。
注2：被保険者数は、第1号及び任意加入の各被保険者数の合計です。
注3：各年度末の数値です。
資料：広島市健康福祉局

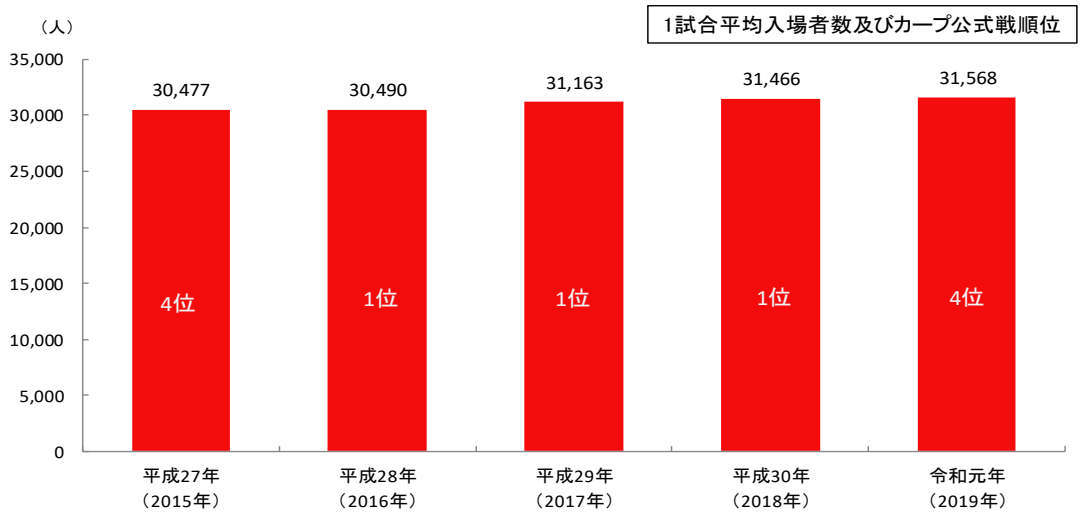
統計で見る広島市 -文化・スポーツ-

広島交響楽団　観客数・演奏会（広島交響楽団主催の市内分）回数



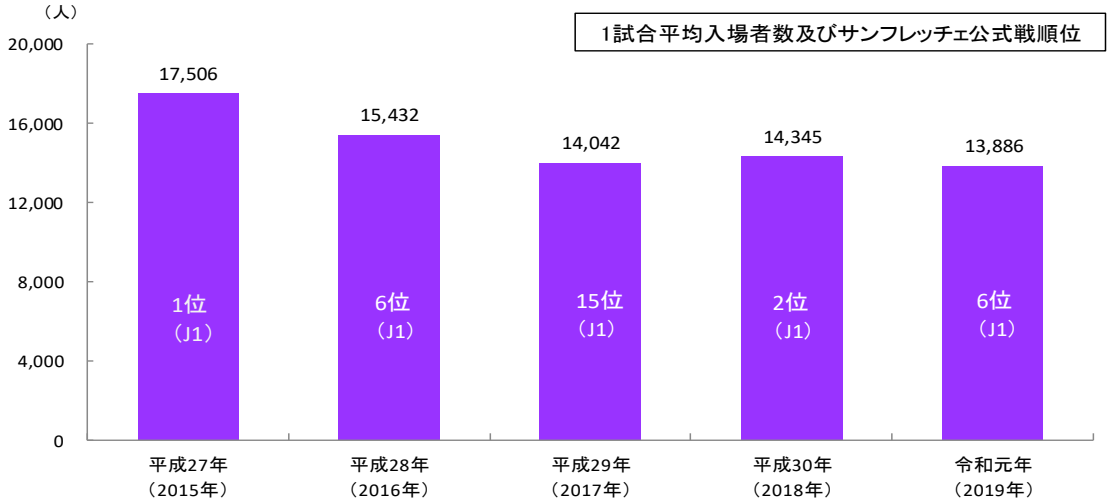
資料：広島市市民局

広島市民球場（マツダスタジアム）　プロ野球公式戦開催状況



注：CS、日本シリーズの入場者数を含みます。
資料：広島市都市整備局

広域公園陸上競技場（エディオンスタジアム広島）　Jリーグ公式戦開催状況

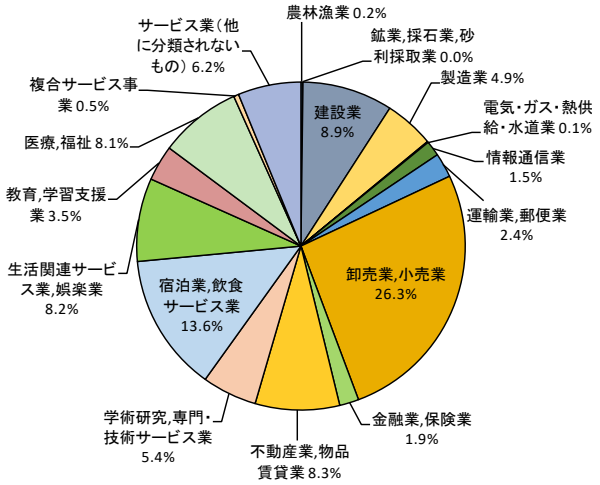


資料：広島市都市整備局

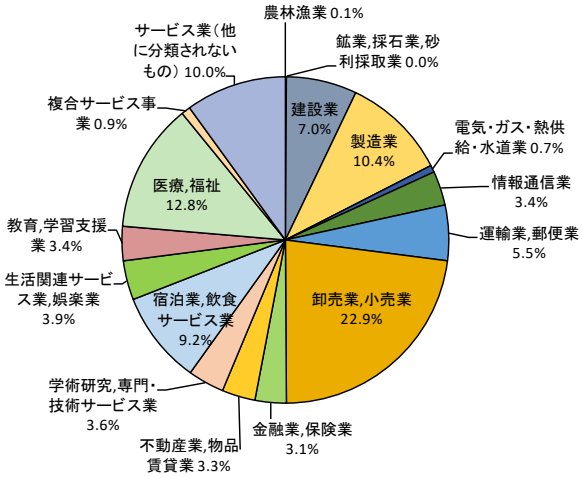
統計で見る広島市 -産業・雇用-

産業別事業所数・従業者数の内訳

事業所数の内訳



従業者数の内訳



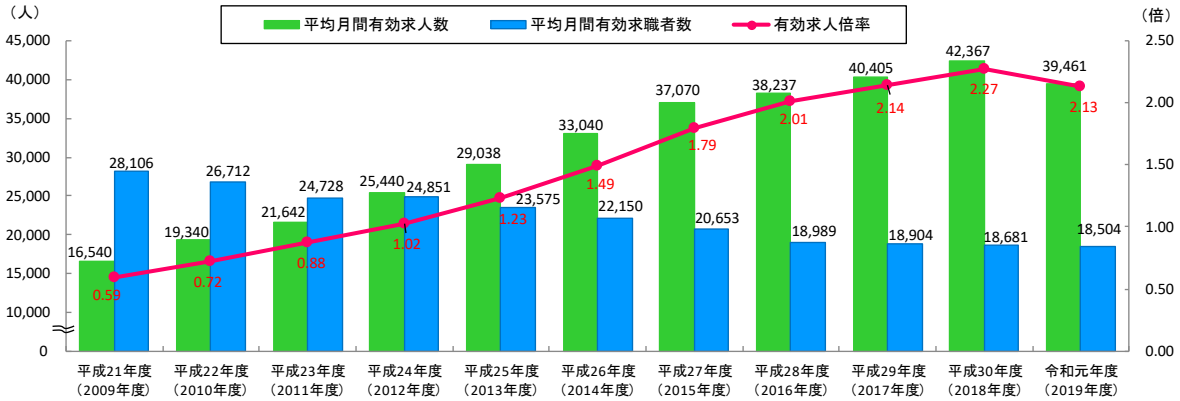
資料:平成 28 年経済センサス－活動調査

農業・商業・工業における事業所数等の推移

農業					
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
農家数	9,534	8,254	7,295	6,785	6,135
農業就業人口（人）	7,573	6,311	4,253	3,232	2,570
商業 （卸売業，小売業）					
	平成16年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年
事業所数	15,060	13,872	14,332	14,418	14,045
従業者数（人）	130,549	120,985	133,048	134,657	133,225
年間商品販売額（億円）	80,326	76,967	69,921	68,301	78,442
工業 （製造業）					
	平成26年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
事業所数	1,239	1,395	1,201	1,161	1,126
従業者数（人）	54,007	54,792	54,674	55,734	56,341
製造品出荷額等（億円）	27,146	30,035	30,180	32,076	31,667

資料:農林業センサス、商業統計調査、工業統計調査、経済センサス

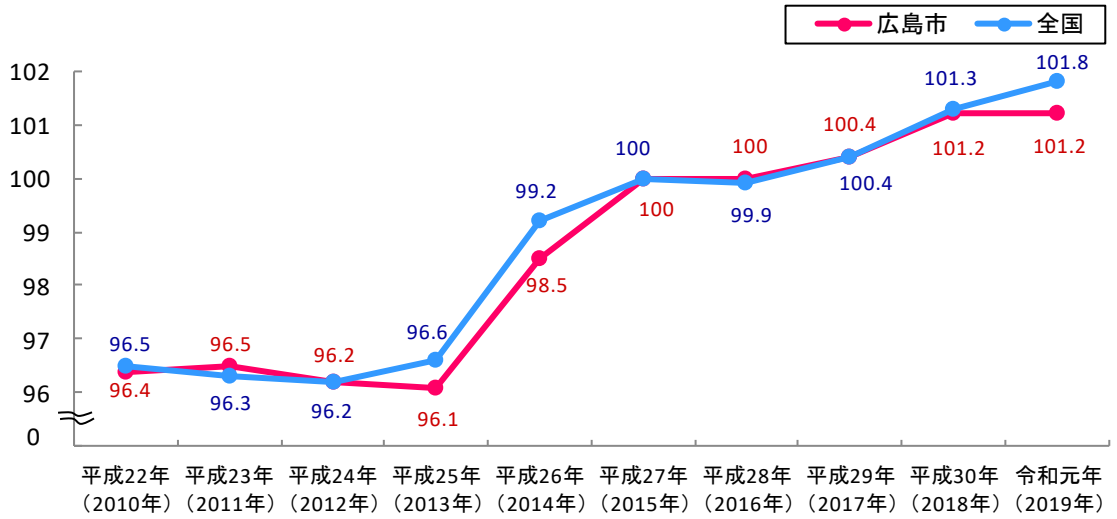
求人・求職者・求人倍率推移



注1:求人数及び求職者数は広島・広島東・可部公共職業安定所の合計です。
注2:有効求人倍率＝平均月間有効求人数／平均月間有効求職者数
資料:広島公共職業安定所、広島東公共職業安定所、可部公共職業安定所

統計で見る広島市 －物価・家計－

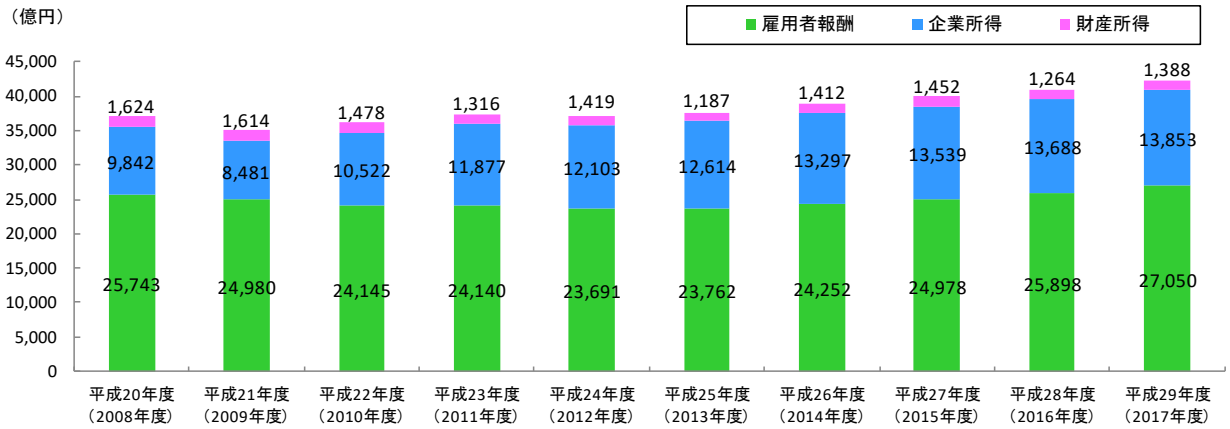
消費者物価指数（総合）の推移



注：消費者物価指数は、全国の世帯が購入する各種の商品（財・サービス）の価格の平均的な変動を測定するものです。ある時点での世帯の消費構造を基準に、これと同等のものを購入した場合に必要な費用がどのように変動したかを指数値で表しています。

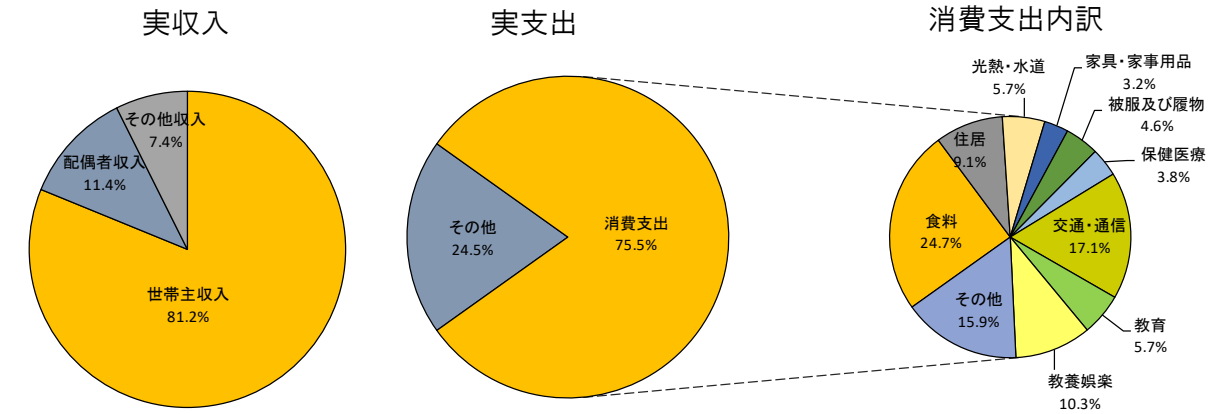
資料：消費者物価指数年報

市民所得（分配）の推移



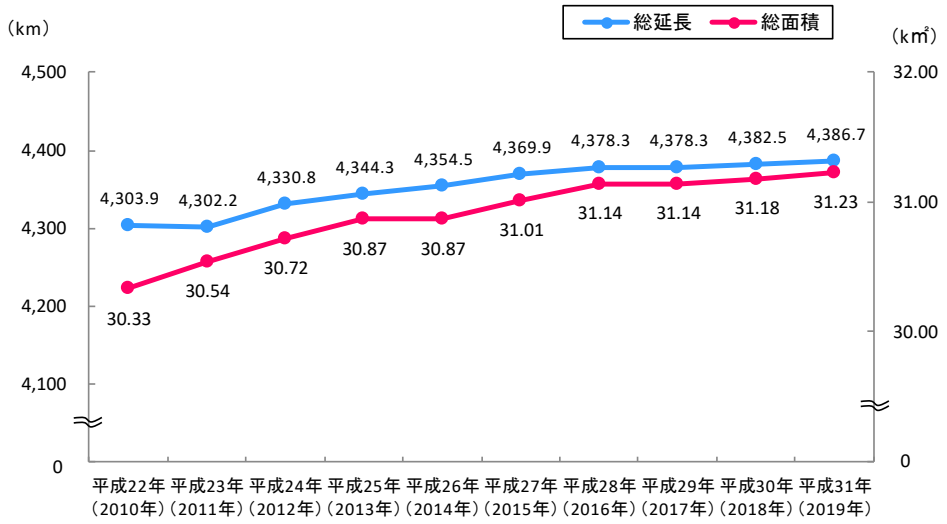
資料：広島市市民経済計算

勤労者一世帯当たり一か月の収入と支出（令和元年平均）



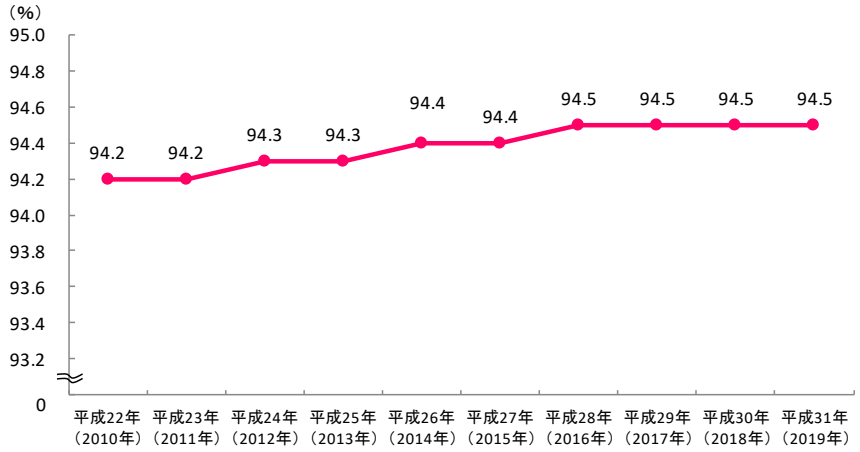
資料：家計調査年報

道路総延長、総面積の推移



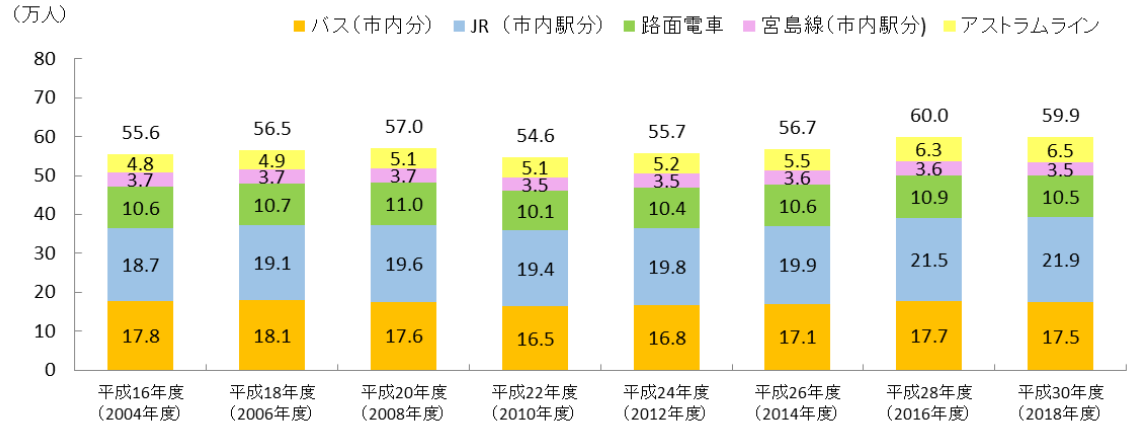
注1：都市高速を除きます。
注2：各年４月１日現在の数値です。
資料：道路統計年報

道路舗装率（延長比）の推移



注1：都市高速を除きます。
注2：各年４月１日現在の数値です。
資料：道路統計年報

交通機関別「一日当たり乗車人員」の推移



資料：広島市統計書

広島市 統計プロフィール

広島市の概要

市の木　楠の木（クスノキ）
市の花　夾竹桃（キョウチクトウ）
姉妹（友好）都市
ホノルル市（アメリカ合衆国）（昭和34年）
ボルゴグラード市（ロシア連邦）（昭和47年）
ハノーバー市（ドイツ連邦共和国）（昭和58年）
重慶市（中華人民共和国）（昭和61年）
大邱広域市（大韓民国）（平成9年）
モントリオール市（カナダ）（平成10年）
長崎市（長崎県）（昭和50年）
広島市の主な位置
東端　東経132°41′39″
（安佐北区白木町井原）
西端　東経132°10′43″
（佐伯区湯来町多田）
南端　北緯34°17′49″
（南区似島町）
北端　北緯34°36′54″
（安佐北区安佐町鈴張）
市役所　東経132°27′19″
北緯34°23′07″
（中区国泰寺町一丁目6番34号）

1　面積（単位：km²）
市域面積（令和2.10.1）906.69
中　区 15.32　東　区 39.42
南　区 26.46　西　区 35.61
安佐南区117.03　安佐北区353.33
安 芸 区 94.08　佐 伯 区225.43
都市計画区域面積（令和2.3.31）399.29
市街化区域面積161.06
市街化調整区域面積238.23

2　気　象（令和元年）
気　温
平均17.2℃
最高37.5℃（8月13日）
最低-0.8℃（2月2日）
降水量
年合計1,381.5mm
日最大1時間降水量42.0mm（8月20日）
天気日数
快晴23日　晴れ179日　曇り69日　雨94日

3　人　口（調査時市域による）
市制施行（明治22年）　83,387人
終戦前ピーク（昭和17年）　419,182人
戦後最小人口（昭和20年）　137,197人
100万人突破（昭和60年）　1,024,072人
国勢調査人口（平成27年）　1,194,034人
（世帯数531,605）
最近の人口と世帯（令和2.9.30）
1,195,259人
男　578,933人
女　616,326人
世帯数　573,373世帯
（住民基本台帳）
昼間人口（平成27.10.1）　1,211,020人
流入（平成27.10.1）　88,983人
（通勤74,389人，通学14,594人）
流出（平成27.10.1）　71,997人
（通勤64,110人，通学7,887人）
昼夜間人口比率（平成27.10.1）　101.4
（昼間人口／常住人口）

区別人口と世帯（令和2.9.30）
中　区　136,021人／78,427世帯
東　区　120,233人／56,965世帯
南　区　142,724人／71,509世帯
西　区　189,217人／95,278世帯
安佐南区　244,789人／106,516世帯
安佐北区　142,733人／65,971世帯
安 芸 区　79,115人／35,781世帯
佐 伯 区　140,427人／62,926世帯
年齢３区分別人口（令和2.9.30）
（住民基本台帳）　1,195,259人
０～14歳　161,227人
15～64歳　730,015人
65歳以上　304,017人
平均年齢（令和2.9.30）
45.66歳（男44.14歳，女47.08歳）
平均寿命（平成27年）男81.43歳　女87.52歳
人口動態（令和元年）
出生 9,241人／1日に25人
死亡10,631人／1日に29人
婚姻 6,236件／1日に17件
離婚 1,997件／1日に5件
転出入（令和元年，外国人を除く。区間移動は含まない）
転入37,386人 転出37,542人

4　経　済
事業所（平成28.6.1/公務を除く）
事業所数　53,327
従業者数　581,331人
商　業（平成28.6.1）
卸売業　事業所数　5,291
従業者数　54,098人
年間商品販売額　6兆3,808億円
小売業　事業所数　8,754
従業者数　79,127人
年間商品販売額　1兆4,633億円
工　業（平成28.6.1）
事業所数　2,618
従業者数　60,348人
製造品出荷額等（従業者4人以上）　3兆35億円
農　業（平成27.2.1）
総農家数6,135（販売農家（専業）726）
経営耕地面積（農業経営体）　1,029ha
漁　業（平成30年）
漁業経営体298　漁船419隻
就業者数（平成27.10.1）566,566人
第１次産業　5,259人
農業，林業4,839人 漁業420人
第２次産業　123,553人
鉱業，採石業，砂利採取業32人
建設業46,941人 製造業76,580人
第３次産業　417,528人
電気・ガス・熱供給・水道業 4,486人
情報通信業　16,229人
運輸業，郵便業　31,143人
卸売業，小売業　101,602人
金融業，保険業　15,247人
不動産業，物品賃貸業　15,220人
学術研究，専門・技術サービス業　20,780人
宿泊業，飲食サービス業　31,958人
生活関連サービス業，娯楽業 19,769人
教育，学習支援業　28,246人
医療，福祉　72,688人
複合サービス事業　4,292人
サービス業　35,382人
公務　20,486人
分類不能の産業　20,226人
中央卸売市場（令和元年）
取扱金額799億円
青果物428億円（野菜270億円，果実157億円）
水産物232億円 肉類78億円 花き61億円
広島港外国貿易（令和元年）
輸出額14,436億円　輸入額4,386億円
金　融（令和元.12.31）
預金残高　7兆0,719億円
貸出金残高　6兆4,727億円
手形交換高（令和元年）　2兆7,870億円
市民経済計算（平成29年度）
経済成長率（名目）2.8%（実質）2.9%
市内総生産（名目）　5兆6,731億円
市民所得（名目）　4兆2,291億円
（１人当たり市民所得　352万8千円）

5　土木・建築・上・下水道
道路（令和2.4.1）
延長4,419km　面積31.8km²
舗装率（延長比）94.5%
橋りょう（令和2.4.1）
橋りょう数2,982　橋長58,996m
河　川（令和2.4.1）
河川数718本　延長898.4km
公　園（令和2.3.31）
都市公園数1,227（986.59ha）
１人当たり都市公園面積8.26m²
住　宅（平成30.10.1）612,100戸
持ち家率52.4%　空家率11.9%
上・下水道（令和2.3.31）
上水道普及率（人口）98.3%
1人1日平均給水量 296ﾘｯﾄﾙ
下水道普及率（人口）95.7%

6　運　輸
１日当たり乗車人員（令和元年度）
市内バス（主要11社）　17.1万人
路面電車　10.3万人
宮島線電車市内駅　3.4万人
JR西日本市内駅　22.0万人
（広島駅7.7万人，横川駅1.7万人）
ｱｽﾄﾗﾑﾗｲﾝ（新交通ｼｽﾃﾑ）　6.6万人
タクシー・ハイヤー　6.1万人
１日当たり乗降客数（令和元年）
広島空港　7,083人
広島港　5,670人
登録自動車台数（令和2.3.31）66.8万台
乗用 35.7万台　軽自動車 23.4万台
貨物用4.7万台　小型二輪　1.5万台
その他1.5万台
原動機付自転車台数（令和2.4.1）9.5万台

7　教育・文化
文化財（令和2.8.31）
国指定24（うち国宝1）
県指定35　市指定101
図書館（令和2.3.31）
市立13館（蔵書221万冊）
県立２館（蔵書 83万冊）
学　校（令和元.5.1）
大学　15校／31,143人
短期大学　4校／ 1,268人
高等学校　47校／33,904人
中学校　76校／33,558人
小学校　147校／67,657人
幼稚園　88園／11,710人
専修学校　39校／ 7,952人
各種学校　11校／ 1,451人
特別支援学校 5校／ 1,106人
来広観光客数（令和元年）
1,427万人（うち外国人観光客185万人）
施設利用者数（令和元年度）
広島城/33万人　平和記念資料館/176万人

8　福祉・衛生・環境事業
社会福祉施設（令和元.10.1）
保護施設　1
児童福祉施設　421
（保育所　190）
老人福祉施設　21
社会福祉
生活保護世帯（令和元年度月平均）18,573世帯
原爆死没者名簿奉納累計数（令和2.8.6）
324,129人
国民健康保険被保険者（令和2.3.31）
215,143人
国民年金被保険者（令和2.3.31）
222,226人
受給権者　298,776人
衛　生（令和元年）
死因別死亡数　10,631人
悪性新生物　3,018人
心疾患　1,627人
脳血管疾患　775人
その他　5,211人
医療機関（令和元.10.1）
病院　84（病床14,161）
一般診療所 1,209
歯科診療所　696
廃棄物（令和元年度）
ごみ収集量　412,218ｔ
し尿収集量　52,532kl

9　労　働
一般職業紹介状況（学卒，パートを除く）
（令和元年平均）
（広島・広島東・可部公共職業安定所管内）
有効求人倍率　2.04
充足率 11.3%　就職率 27.6%
常用労働者（令和元年平均）
（１人平均１か月間，広島県，事業所規模５人以上）
現金給与総額　318,271円
実労働時間数　144.3時間
（うち所定外 11.9時間）
賃金指数（令和元年平均）
（実質，平成27年＝100）98.5

10　物価・家計
物　価（令和元年平均）
国内企業物価指数 101.5（対前年比0.2%）
（全国，平成27年＝100）
消費者物価指数　101.2（対前年比0.1%）
（平成27年＝100）
家　計
（令和元年，年平均１か月間勤労者世帯）
実収入576,190円　消費支出327,058円
（平成26.11.30，二人以上の世帯）
貯蓄1,665万円　負債563万円

11　治安・防災
防　犯（令和元年）
犯罪認知件数　7,754件
窃盗犯　5,143件　知能犯　453件
粗暴犯　628件　風俗犯　105件
凶悪犯　55件　その他　1,370件
交通事故（人身事故）（令和元年）
件数2,677件　死者19人　傷者3,220人
防災（令和2.3.31）
消防車（消防ポンプ車等）　149台
消防船艇　2艇
救急車　50台
救急出動（令和元年）57,389件
火災（令和元年）255件（り災人員342人）

12　行・財政
予　算（令和２年度）
当初予算額　1兆2,289億円
一般会計　6,564億円
特別会計　4,241億円
企業会計　1,484億円
財産区会計　2,083万円
一般会計歳入内訳
市税　2,388億円
地方交付税　480億円
国庫支出金　1,390億円
市債　765億円
諸収入　395億円
その他　1,146億円
一般会計歳出内訳
総務費　478億円
民生費　2,107億円
衛生費　693億円
商工費　175億円
土木費　987億円
教育費　965億円
公債費　643億円
その他　515億円
市職員（令和2.4.1）　14,521人
市長事務部局　6,099人
消防局　1,351人
議会事務局　41人
行政委員会　6,394人
水道局　636人
市議会議員（令和2.4.1）
議員定数54人　現議員54人

13　略年表
明治22年　市制施行
昭和20年　原子爆弾により壊滅
昭和24年　「広島平和記念都市建設法」公布
昭和36年　広島空港（現広島ヘリポート）開港
昭和46年　天皇・皇后両陛下が広島へ行幸啓
昭和50年　山陽新幹線岡山・博多間開通
広島東洋カープ初優勝
昭和52年　第１回ひろしまフラワーフェスティバル開催
昭和55年　政令指定都市広島誕生，７区役所開所
昭和56年　ローマ法王来広
昭和57年　広島市長，国連軍縮特別総会で核兵器廃絶を演説
昭和58年　第17回日米市長及び商工会議所会頭会議開催
昭和60年　五日市町を合併，佐伯区役所開所
’85ワールドカップマラソン広島大会開催
第１回世界平和連帯都市市長会議開催
第１回国際アニメーションフェスティバル広島大会開催
昭和61年　国際駅伝広島大会開催
平成元年　市制100周年・築城400年記念事業’89海と島の博覧会・ひろしま開催
平成５年　広島西飛行場（現広島ヘリポート）開港
平成６年　広島市立大学開学
第12回アジア競技大会広島1994開催
平成８年　第１回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会開催
ひろしま国体（第51回国民体育大会）開催
おりづる大会ひろしま（第32回全国身体障害者スポーツ大会）開催
平成９年　第14回全国都市緑化ひろしまフェア（グリーンフェスタひろしま’97）開催
平成11年　世界音楽祭オーガスト・イン・ヒロシマ’99開催
平成12年　第15回国民文化祭・ひろしま2000開催
平成13年　紙屋町地下街「シャレオ」開業
広島高速4号線（広島西風新都線）開通
第14回全国健康福祉祭広島大会（2001ねんりんピック広島）開催
平成14年　第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」開催
平成16年　第１回日米都市サミット広島2004開催
平成17年　湯来町を合併
平成20年　第７回Ｇ８下院議長会議開催
平成21年　（新）広島市民球場開設
平成22年　日本ＡＰＥＣ広島高級実務者会合開催
第11回ノーベル平和賞受賞者世界サミット開催
平成25年　第26回全国菓子大博覧会・広島「ひろしま菓子博2013」開催
平成28年　Ｇ７外相会合開催
平成29年　賢人会議・国連軍縮会議開催
令和元年　ローマ教皇来広

14　政令指定都市（付録）
都市別主要指標（大都市比較）

都　市	政令指定都市移行年月日	面積km²平成27年10月1日	国勢調査結果（平成27年10月1日）	
			総世帯数	人口
札 幌 市	S47.4.1	1,121.26	921,837	1,952,356
仙 台 市	H元.4.1	786.30	498,953	1,082,159
さいたま市	H15.4.1	217.43	533,209	1,263,979
千 葉 市	H 4.4.1	271.76	417,857	971,882
川 崎 市	S47.4.1	143.00	691,837	1,475,213
横 浜 市	S31.9.1	437.49	1,645,618	3,724,844
相模原市	H22.4.1	328.66	311,188	720,780
新 潟 市	H19.4.1	726.45	321,511	810,157
静 岡 市	H17.4.1	1,411.90	286,013	704,989
浜 松 市	H19.4.1	1,558.06	309,227	797,980
名古屋市	S31.9.1	326.45	1,058,497	2,295,638
京 都 市	S31.9.1	827.83	705,874	1,475,183
大 阪 市	S31.9.1	225.21	1,354,793	2,691,185
堺　市	H18.4.1	149.82	350,301	839,310
神 戸 市	S31.9.1	557.02	705,459	1,537,272
岡 山 市	H21.4.1	789.96	309,409	719,474
広 島 市	**S55.4.1**	**906.53**	**531,605**	**1,194,034**
北九州市	S38.4.1	491.95	426,325	961,286
福 岡 市	S47.4.1	343.39	764,820	1,538,681
熊 本 市	H24.4.1	390.32	315,456	740,822
東京都区（参考）	―	626.70	4,801,194	9,272,740

編集　広島市企画総務局企画調整部政策企画課
（統計分析係）
TEL 082-504-2012
広島市ホームページ
https://www.city.hiroshima.lg.jp/
ご意見などは下記アドレスにお寄せください。
seisakukikaku@city.hiroshima.lg.jp

本書の編集内容について

1　本書は、令和元年（2019 年）又は令和元年度（2019年度）の統計資料を主として収録し、その他の年（度）の資料は、時系列比較のため掲げています。また、期間は、資料の有無、性質及び編集の都合により適宜伸縮して収録しています。

2　数字の単位は原則として各表の右上に掲げていますが、一見して単位が明らかなものは省略しています。また、単位未満は原則として四捨五入しているため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しません。

3　本書に掲載している統計資料のほか、市ホームページでもより詳細な統計資料を掲載していますので、ご利用ください。
広島市ホームページ「統計情報」
https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/toukei/

登録番号	広 C5-2020-347
名　　称	令和２年版（2020 年版）広島市勢要覧
主管課 所在地	広島市企画総務局企画調整部政策企画課 広島市中区国泰寺町一丁目６番 34 号 （〒730-8586）TEL　082-504-2012（直通）
発行年月	令和３年（2021 年）３月

広島市
Hiroshima City